

タンザニア国
ソコイネ農業大学地域開発センター
事前調査団報告書

平成10年6月

国際協力事業団
社会開発協力部

JICA LIBRARY



J 1147253 (7)

社協二

JR

98-012



1147253{7}

**タンザニア国
ソコイネ農業大学地域開発センター
事前調査団報告書**

平成 10 年 6 月

**国際協力事業団
社会開発協力部**

序 文

タンザニア連合共和国は貧困の解消を国家重点目標に掲げて、それに必要な人的資源開発を急いでいる。このためタンザニア政府は、同国の国立ソコイネ農業大学に地域開発センターを設置し、国の環境に適した独自の地域開発手法を確立したいとして、我が国にプロジェクト方式技術協力を求めてきた。

国際協力事業団は1997年10月に基礎調査団を派遣して基礎資料の収集などを行い、プロジェクトの必要性・緊急性が高いことを確認した。今般は同協議結果を受けてタンザニア側から改訂要請書が提出されたことを踏まえて、1998年(平成10年)5月3日から同16日まで、杉山隆彦 国際協力事業団国際協力専門員を団長とする事前調査団を現地に派遣した。同調査団はPCMワークショップを開催してプロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)を取りまとめるとともに、プロジェクトのモデル地区となるべき地域の適性調査などを行ってきた。

本報告書は、同調査団の調査・協議結果などを取りまとめたものであり、今後のプロジェクトの進展に向けて広く活用されることを願うものである。ここに、調査団の各位を始め、ご協力頂いた外務省、文部省、在タンザニア日本国大使館など、内外の関係各機関の方々に深く謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援を賜るよう、お願い申し上げる次第である。

平成10年6月

国際協力事業団

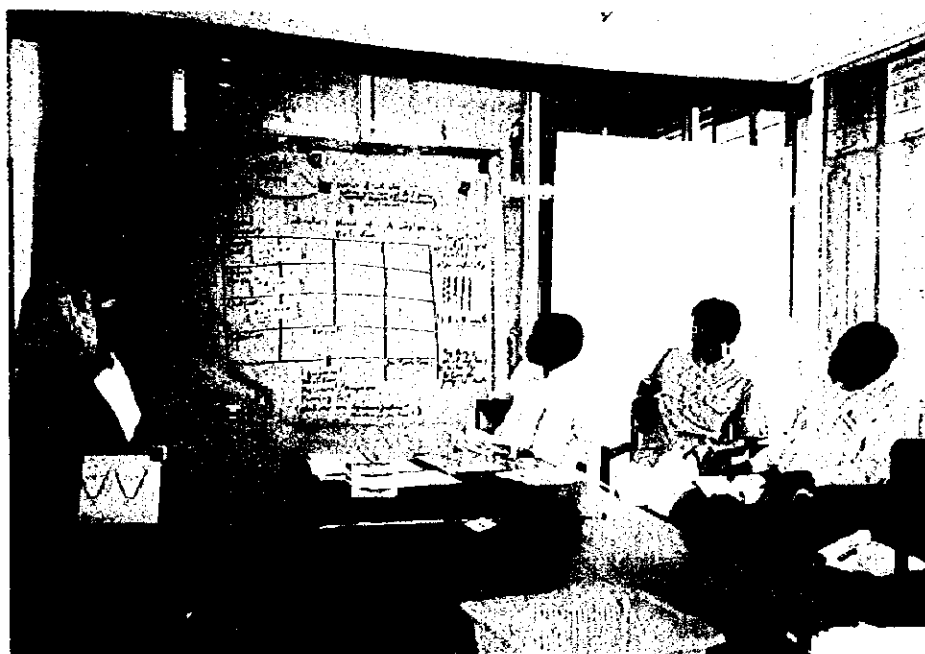
理事 佐藤 清



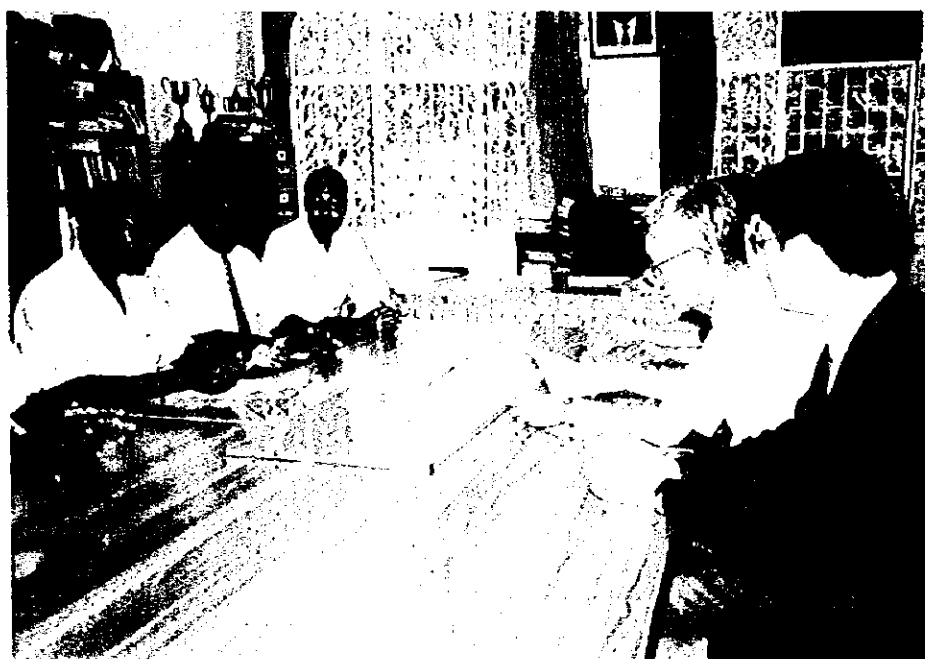
ソコイネ農業大学



地域開発センター候補建物(ソコイネ農業大学内)



PCMワークショップ



ソコイネ農業大学との協議



モデル地区候補地(ウルグル山)視察時陸路



モデル地区候補地(ウルグル山)

モデル地区の位置図



目 次

序	文
写	真
地	図

1. 事前調査団の派遣.....	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成.....	1
1-3 調査日程.....	2
1-4 主要面談者.....	2
2. 要約	4
2-1 タンザニア側との協議結果	4
2-2 協力の必要性・緊急性	5
2-3 提言	5
3. タンザニア側のプロジェクト実施体制	6
3-1 実施機関の組織及び事業概要	6
3-2 プロジェクトの組織	6
3-3 プロジェクトの予算措置	7
3-4 建物・施設など計画	7
3-5 カウンターパートの配置計画	8
4. PCMワークショップ	12
4-1 参加者	12
4-2 ワークショップの内容	12
4-3 ワークショップの結果	14

5. プロジェクト協力の基本計画	16
5-1 協力対象	16
5-2 協力範囲	16
5-3 協力内容	16
5-4 活動内容	16
5-5 専門家派遣計画	18
5-6 研修員受入計画	19
5-7 機材供与計画	19
6. 専門家の生活環境	20
6-1 住宅事情	20
6-2 教育事情	20
6-3 治安事情	20
6-4 生活事情	20
6-5 医療事情	21
付属資料	
1. ミニッツ	25
2. タンザニア側から提出された地域開発センター長期(10年)活動計画書	41
3. タンザニア側から提出された施設計画書	42
4. タンザニア側から提出された現地PCM/ZOPPワークショップ報告書	45
5. 調査時議事録	70

1. 事前調査団の派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

タンザニア連合共和国においては、現在「タンザニア 2025 年開発展望」を策定中であり、同計画のなかで貧困の軽減率を年 8～10%とする目標を掲げ、これを実現するために必要な人的資源開発が急務とされている。これに対処するためタンザニア政府は、タンザニア人が主体性をもって自国の開発に取り組み、その成果を地域住民や近隣諸国と共有・活用するための拠点としての地域開発センターをソコイネ農業大学に設置し、モデル地区における実証・事例研究をととして在来技術を再評価しながら、独自の地域開発手法を確立するため、プロジェクト方式技術協力を我が国に要請してきた。同要請を受けて、タンザニア側の要請内容と背景の詳細について確認し、プロジェクト方式技術協力実施の可能性を検討する基礎資料を収集するため、1997 年 10 月に基礎調査団が派遣された。調査の結果、タンザニア国における貧困対策支援に資する本案件の必要性、緊急性及び熟度はいずれも高いことが確認された。今般は、基礎調査団との協議結果を受けて 1997 年 11 月にタンザニア政府から改訂要請書が我が国に提出されたため、プロジェクト方式技術協力実施の可能性を検討し、今後の取り組みの方針についてまとめることを目的として、事前調査団を派遣することとした。

1-2 調査団の構成

(1) 団長・総括	すぎやま たかひこ 杉山 隆彦	国際協力事業団国際協力専門員
(2) 村落地域社会	よしお けいすけ 吉尾 啓介	文部省学術国際局教育文化交流室室長
(3) 地域開発	かけや まこと 掛谷 誠	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授
(4) 参加型開発	おかだ なおみ 岡田 尚美	国際開発高等教育機構事業部次長
(5) 協力企画	うえだ ともこ 上田 智子	国際協力事業団社会開発協力部ジュニア専門員

掛谷 完主:

tel: 075-753-7803



1-3 調査日程

日順	月 日	曜	移動及び業務	宿 泊 地
1	5 / 3	日	成田～ロンドン	機内泊
2	4	月	～ダルエスサラーム 大使館表敬、JICA事務所打合せ	ダルエスサラーム
3	5	火	移動(ダルエスサラーム～モロゴロ) ソコイネ農業大学表敬	モロゴロ
4	6	水	ソコイネ農業大学ワークショップ	同上
5	7	木	ソコイネ農業大学ワークショップ	同上
6	8	金	ソコイネ農業大学ワークショップ／ミニッツ協議	同上
7	9	土	モデル地区視察(ウルグル山域)	同上
8	10	日	資料整理、団内打合せ	同上
9	11	月	ミニッツ協議、ミニッツ署名・交換	同上
10	12	火	移動(モロゴロ～ダルエスサラーム)	ダルエスサラーム
11	13	水	科学技術高等教育省表敬 大使館、JICA事務所報告	同上
12	14	木	ダルエスサラーム～チューリッヒ	チューリッヒ
13	15	金	チューリッヒ～	機内泊
14	16	土	成田	

1-4 主要面談者

(1) SOKOINE UNIVERSITY OF AGRICULTURE (S U A)

Prof. A. B. Lwoga	Vice Chancellor
Prof. P. M. Msolla	Deputy Vice Chancellor
Mr. S. P. Mkoba	Registrar
Dr. N. Hatibu	Dean, Faculty of Agriculture
Dr. R. P. C. Temu	Associate Dean, Faculty of Forestry and Nature Conservation
Prof. D. M. Kambarage	Dean, Faculty of Veterinary Medicine
Dr. R. M. Wambura	Director, Institute for Continuing Education
Dr. B. J. Kasimila	Director, Development Studies Institute
Dr. A. Z. Mattee	Task Force Chairman
Prof. D. F. Rutatora	Task Force Member

Prof. G. L. Mwamengele	Task Force Member
Dr. A. J. P. Tarimo	Task Force Member
Dr. G. C. Monela	Task Force Member
Dr. A. C. Isinika	Task Force Member
Mr. R. L. Massawe	Task Force Member

(2) MINISTRY OF SCIENCE, TECHNOLOGY, AND HIGHER EDUCATION (M S T H E)

Hon. Jackson Makwetta	Minister
-----------------------	----------

(3) 日本大使館

太田 裕造	公使
田港 朝彦	二等書記官

(4) J I C A タンザニア事務所

中井 信也	事務所長
古川 光明	事務所員

2. 要 約

2-1 タンザニア側との協議結果

(1) プロジェクト目標・成果・活動

実施機関であるソコイネ農業大学と調査団によるPCMワークショップの結果を受けて、同大学に地域開発センターを設置し、モデル地区における活動をとおり地域の真のニーズをさぐり、在来技術、環境に配慮した持続可能な参加型地域開発手法(SUAメソッド)を開発することをプロジェクト目標とする。また、プロジェクト終了後も、モデル地区における生活水準の向上をめざすと同時に、確立された同センターを拠点とし、SUAメソッドを関連機関にも広め、モデル地区以外の地域においても同手法を実践することを長期目標とする。

(2) 実施体制

設置される地域開発センターは、情報収集、事例分析、実践などをとおり地域開発へのアプローチを行う3セクション(社会経済・環境保全・資源管理)、それらを統括する委員会及び情報ユニットから構成される。プロジェクト開始後は、関係者の調整機関としてソコイネ農業大学学長を委員長とする合同委員会を設置し、プロジェクトの円滑な運営を図る。

ソコイネ農業大学の実施体制については、既にプロジェクト開始に向けてタスクフォースも編成されており、センター設置のための学内措置を行うなど、早期開始に対する熱意と意気込みは十分であると判断された。

(3) 投入計画

日本側は、前述の3セクション(社会経済・環境保全・資源管理)を中心とした地域開発の専門家派遣及び野外活動用車両、実験・調査用機材の供与に加えて、日本でのカウンターパート研修の受入れを主な投入とする。

タンザニア側はカウンターパートの配置に加え、運営管理スタッフを常駐させることに合意した。なお、人選については学内で透明性をもって実施することを表明している。

先方が提供可能な学内のセンター候補施設については、建物の老朽化が進み、地域開発センターとしての十分な機能をもたせることが困難であることから、既存の建物の大幅な修復と拡張が必要と判断された。先方からの要請もあり、当面はプロジェクト基盤整備費による対応を検討したいが、長期的には無償資金協力による施設整備の検討も必要であろう。また、タンザニア側からローカルコスト負担に係る予算措置に努力すると表明された。

(4) その他

タンザニア側は施設整備計画について再検討し、プロジェクト運営費などの予算計画を明確にすることが課題となった。これについては平成10年度中に派遣予定の短期調査において再度協議を行うこととなる。

2-2 協力の必要性・緊急性

本調査の結果、当該プロジェクトの意義及びこれに対するタンザニア側の期待、準備の進捗状況からすると、協力の必要性は十分認められた。また、タンザニア国はDAC新開発戦略の重点国でもあり、プロジェクトの早期実施を実現すべく、日本側としての投入計画の準備、取り組みを進めるべきであると判断した。

2-3 提言

本調査団との協議結果を受けてタンザニア側は以下の4事項について、平成10年度中に派遣予定の短期調査までに検討することとなった。

(1) 地域開発センター施設整備計画の再検討

当初タンザニア側が計画していた施設計画はセンターの研究室を5分野と想定していたが、協議の結果3分野となったことから、これに対応すべく再度検討することとなった。

(2) プロジェクト運営費に係る予算計画

プロジェクト開始後の年間運営費を試算し、タンザニア側で対応可能な部分について検討する。

(3) 地域開発センター設置の学内措置

地域開発センターがソコイネ農業大学内の独立した(学部・研究所と同列の)機関として機能するための学内措置を行う。

(4) 施設・運営費の確保

施設建設や運営費の予算確保の努力をする。

3. タンザニア側のプロジェクト実施体制

3-1 実施機関の組織及び事業概要

このプロジェクトの実施機関となるソコイネ農業大学は、1984年に制定されたソコイネ農業大学法に従って設立された唯一の農学系国立大学であり、農学、林学、獣医学の3学部と、生涯教育研究所などの付属研究所から構成される(図3-1)。それらの部局に所属するアカデミック・スタッフは総計214名にのぼる。ソコイネ農業大学は、唯一の農学系国立大学として、国の多数を占める小農の要求に応えうる農業研究や、教育を通じた人材育成によって、地域社会の発展に資することを使命としている。

ソコイネ農業大学の所管官庁は、科学技術高等教育省(Ministry of Science, Technology and Higher Education)であり、次官の管轄下にあるが、大学自身は法的に独立した法人として認められている(図3-2参照)。

ソコイネ農業大学では、当プロジェクトによって設立される地域開発センター(SCSRD)を、既存の学部や研究所と同等の機関として位置づけ、その実現に向けて最大限の努力をほらうことを言明している。また、各学部や研究所は、このセンターの活動に対して全面的に協力することを表明している。

ソコイネ農業大学地域開発センターでは、5年間のプロジェクト期間中に2つのモデル地区で住民参加型の地域開発活動を進めるが、その活動に際しては地域住民のほかに、地方政府(Local Government)とも密接な関係が保持されることになる(ミニッツ ANNEX II)。現在、行政の地方分権化が推進されており、その分権化の核は県(District)レベルに置かれる見通しが強い。県では、県知事(District Commissioner: DC)の下に県次官(District Administrative Secretary: DAS)が置かれ、そのもとに農業省や地域開発女性児童省などの各省の職員が配属され、地域開発行政が進められることになるが、この行政組織は郡(Division)、区(Ward)、村(Village)レベルとリンクしつつ機能する。モデル地区での活動は、村レベルの普及員などとの連携が主となるが、県、郡、区の職員も重要なパートナーとして位置づけられる。

3-2 プロジェクトの組織

(1) 地域開発センター設置計画

組織・制度と、施設・機材・設備が整えられることなどが前提条件となるが、2つのモデル地区での活動をとおして、持続可能な地域開発手法(SUAメソッド)を発展させることが、地域開発センターの実質的な確立の要件となる。前提条件の内容は以下のとおり。

- 1) 組織：センター長を始めとして同センター内の人員が配置される。

- 2) 制度：ソコイネ農業大学内の正式な審議過程を経て、学内の独立機関として、センターの位置づけが明確にされる。プロジェクト開始時までに学内の独立機関となるための学内措置が完了していない場合、センターは暫定的に農学部の下に設置されることになる。

2)については本年度中に進め、その制度化に基づいてプロジェクト開始時には1)の人員配置が可能な体制をとることを、ソコイネ農業大学側は言明している。

3-3 プロジェクトの予算措置

タンザニア側が負担するコストのうち、タンザニア人スタッフの人件費、土地、建物については特に問題がないと思われるが、車両の燃料費などの運営費については予算の確保が困難であるとしている。特に燃料費については車両での移動が活動の核となることから、これにかかる費用は多額となる見込みであるが、そのすべてをタンザニア側の予算で捻出することは厳しいと思われる。

ソコイネ農業大学側は、本年10月の短期調査員派遣までにプロジェクト開始後予想される運営費を試算し、大学を所轄している科学技術高等教育省に対し必要な予算について支援を要請するとしている。

3-4 建物・施設など計画

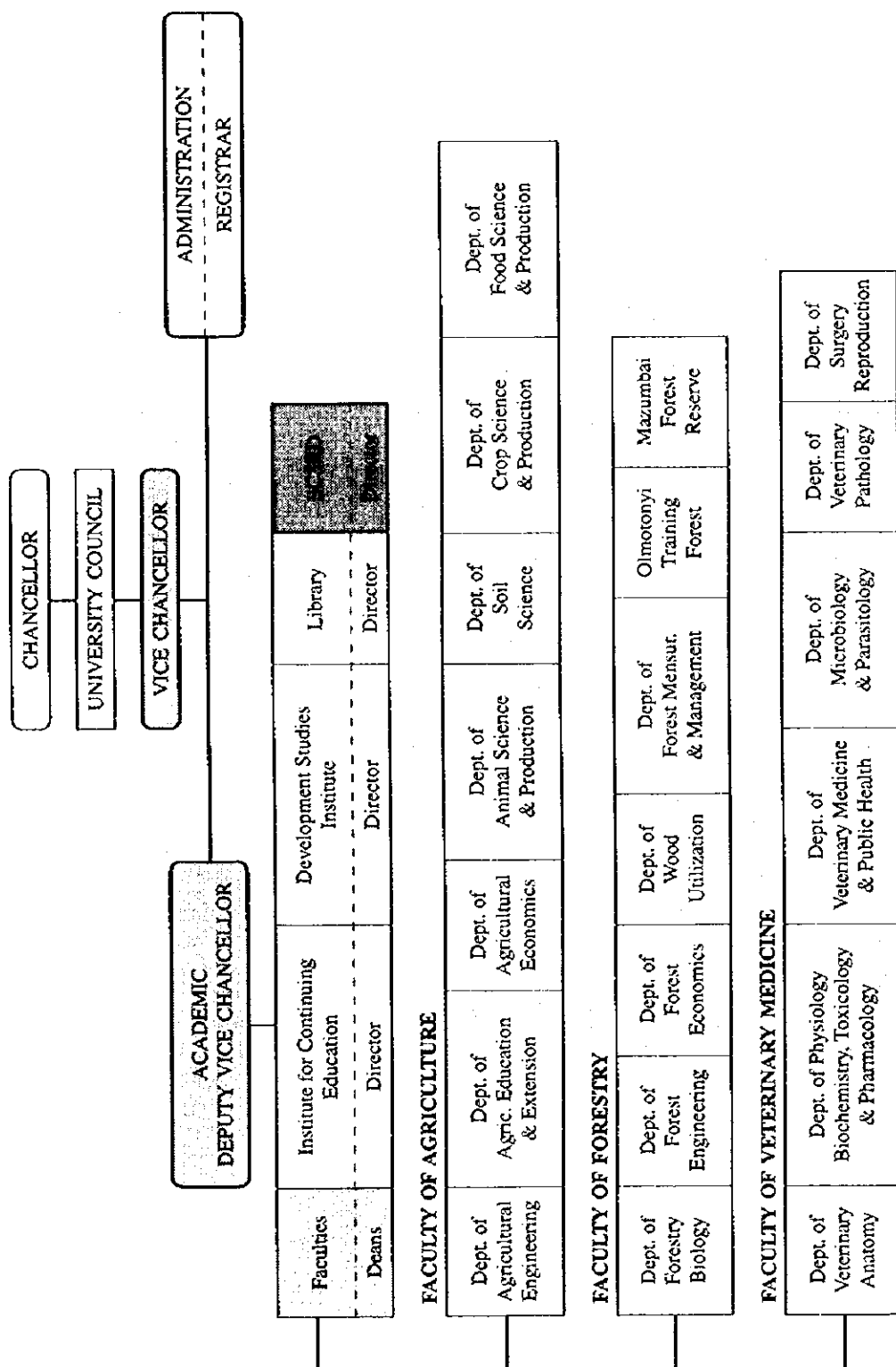
基礎調査の際に、ソコイネ農業大学側から4つの候補地が提示された(図3-3)。その後、ソコイネ農業大学のタスクフォースが検討を重ねた結果、Aの候補地がセンターの機能と規模から考えて適正と判断し、既存の木造建物を修復しつつ、新たにブロック造りの建物を増築してセンター施設を整備する案を提示してきた。その基本は、新築棟をソコイネ農業大学側のスタッフ及びJICA派遣の専門家の研究室とし、既存の木造建築を修復して情報処理室、図書・資料の収蔵室及びセミナー室にあてることとしている。また、2つのモデル地区のうち、マテング高地(ムビンガ県)については既設のフィールドステーションの改修が必要であり、ウルグル山域(モロゴロ地方県)では新たに小規模な現地ステーションの建設が必要であるとしている。

本調査時に、提示されたセンター設置の候補地を視察し、敷地の位置と広さなどは、学内の独立機関として位置づけられるセンターにふさわしい施設を整備しうる要件を満たしていると判断した。ただし、既存の建物は老朽化が進み、かなりの修復及び拡張が必要である。よって、既存の建物を修復し、更にセンターとしての十分な機能をもたせるためにプロジェクト基盤整備費による新施設建設が望まれる。その際、フィールドステーションについての計画も含め、各施設の緊急性に応じた優先度、設置時期及びソコイネ農業大学側が負担しうる範囲について検討し、その結果を本年10月から11月にかけて予定される短期調査の実施前に報告するよう要請した。

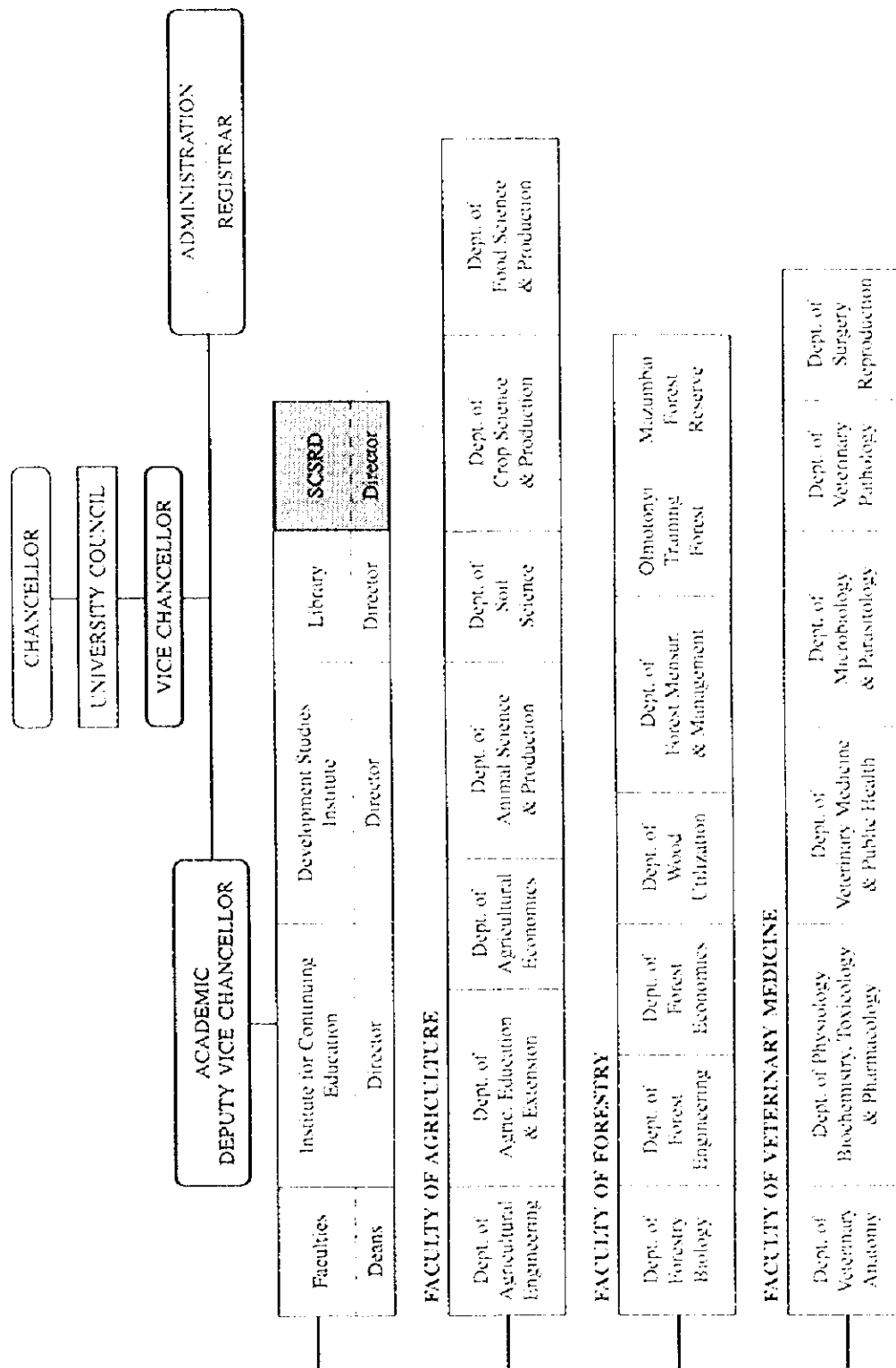
3-5 カウンターパートの配置計画

本プロジェクトにおいては2つのモデル地区での調査・実践をととした持続可能な地域開発手法(SUAメソッド)の確立を支援し、ソコイネ農業大学地域開発センターの機能の強化と人材の育成をめざしている。

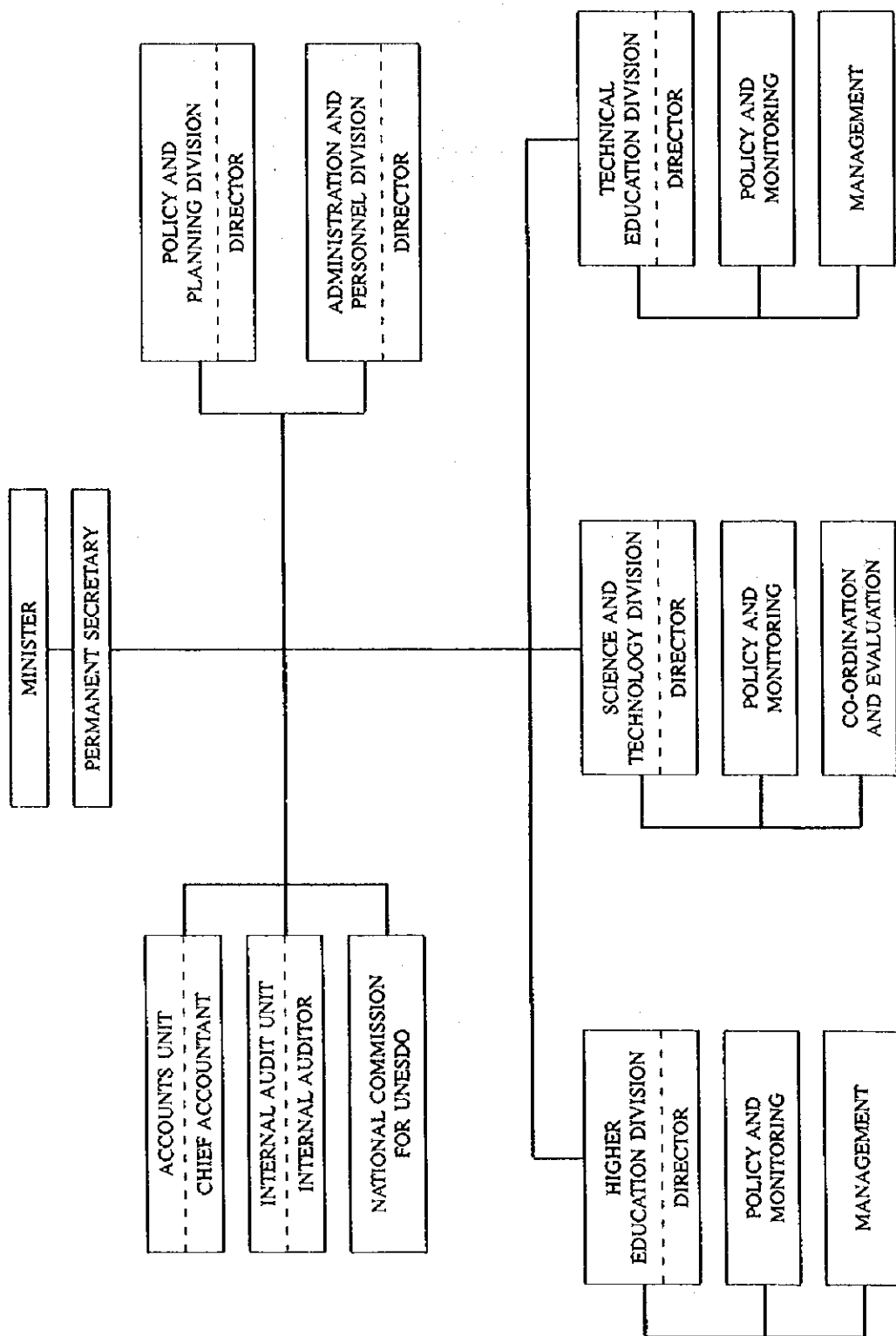
ソコイネ農業大学側では既に研究協力時に編成されたタスクフォースが中心となってプロジェクト開始に向け準備を進めているが、農学部 of 教官に限らずすべての学部・学科から幅広い人材が確保できるとしている。また、本調査団との協議のなかでソコイネ農業大学側は、シニアスタッフの配置に加え若手教官を確保し、センターの持続性を図るための若手人材育成に力を入れている。本調査時、タンザニア側はセンター長1名、資源管理、環境保全、社会経済、情報処理ユニットの各セクションにシニアスタッフ1名及びジュニアスタッフ2名程度を配置としている。カウンターパートについてはセンターに専属することが望ましいが、予算状況が厳しいなか、人件費の負担が懸念されることから、タンザニア側の事情に配慮したい。



Position of SUA Centre for Sustainable Rural Development (SCSRD)



Position of SUA Centre for Sustainable Rural Development (SCSRD)



出所：MSTHE

图 3—2 科学技术高等教育省組織図

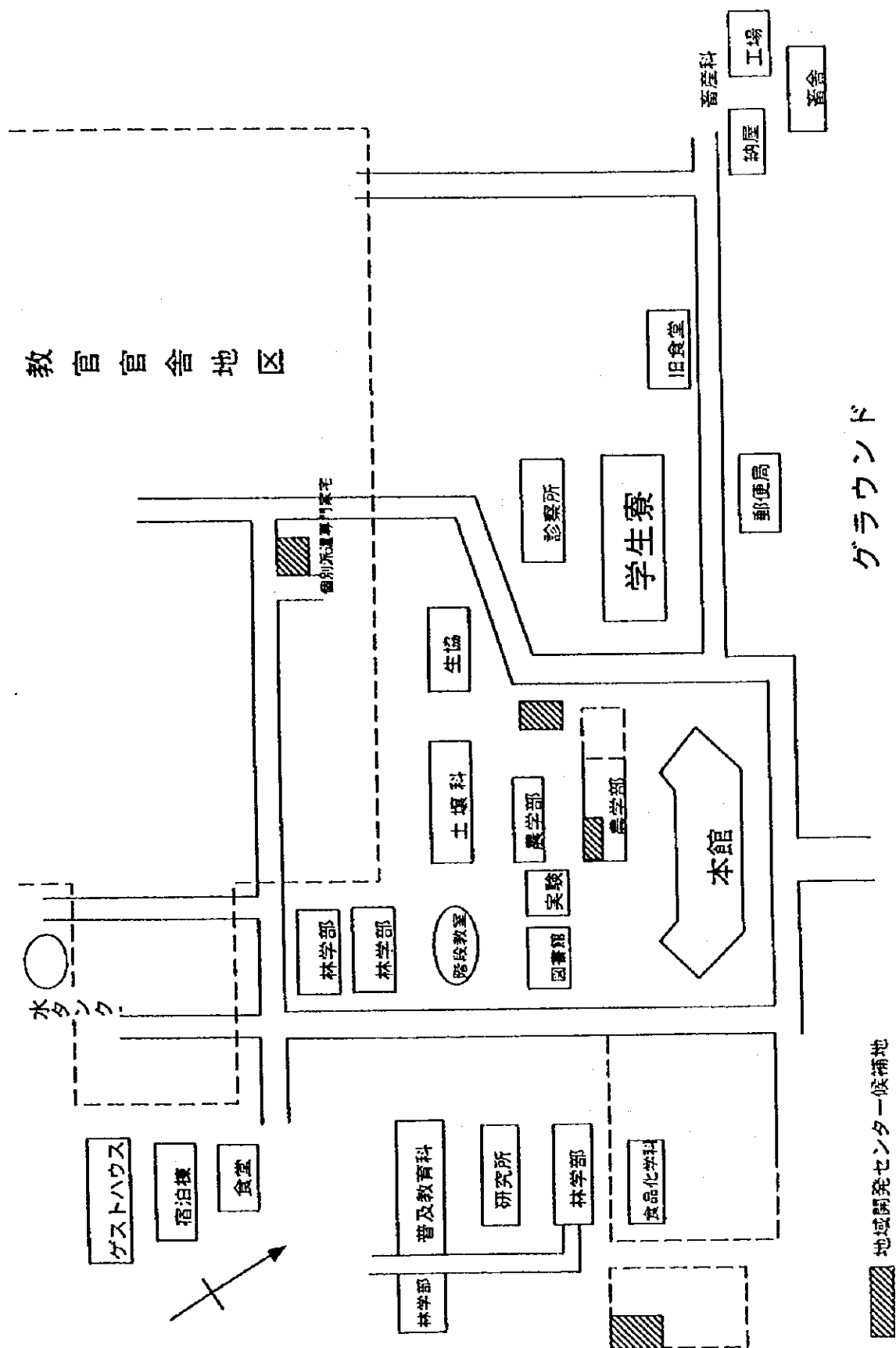


図 3-3 センター候補地の位置

4. PCMワークショップ

プロジェクト・サークル・マネージメント(PCM)手法に基づくワークショップを以下のように開催し、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)の作成を行った。

4-1 参加者 13名

タンザニア側：プロジェクトタスクフォース 7名

日本側：調査団員 4名(吉尾団員を除く)

角田 学 個別派遣専門家

古川 光明 JICAタンザニア事務所(当プロジェクト担当)

吉尾団員は途中で調査に参加したため、PCMワークショップには出席していない。

4-2 ワークショップの内容

(1) 実施の基本的考え方

ワークショップ実施に際しては次の点を考慮した。

- 1) 現地で既に実施されたPCMワークショップ(後述)の成果を最大限に活用する。
- 2) 当該プロジェクトは「やりながら考える」部分が多く、自由度が高い内容となっているため、その特徴を十分に生かしたプロジェクト計画案(PDM)とする。
- 3) プロジェクト案作成に際し、関係者間で大きな齟齬が出てきた場合は、その旨を今後の課題として、それぞれ持ち帰る。

(2) 日程：5月6日(水)～8日(金)

PCMワークショップは表4-1のように行われた。

表4-1 ワークショップ日程

月 日	曜日	時 間	内 容
5月6日	水	13:30	PCMワークショップ(WS) 今回のWSの意図、PDMの理論確認 PDMの作成:Project Summary (プロジェクト目標、上位目標、成果の検討が中心になされた)
		17:00	終了
7日	木	9:00	PDMの作成続き:Project Summary 前日の案の確定活動の作成
		14:00	PDMの作成続き:指標、投入、外部条件 ・Pilot Projectの内容が決まらないうちは、全体プロジェクトの指標の設定ができないことから議論になった。 ・投入では、タンザニア側の希望するもののうち、日本のプロ技のスキームで対応可能なものと不可能なものの相互理解が重点になった。
		17:00	終了
8日	金	9:00	作成されたPDM全体の確認 プロジェクトのスケジュール案作成
		10:00	終了

後述するように、既に現地でPCMワークショップが実施されていたため、PDM作成には、実質1日半の期間で十分であった。

(3) 会場

ソコイネ農業大学 Institute for Continuing Education 内会議室

気候のためやや暑かったが、壁も多く、また広すぎず適切な会場であった。

(4) 消耗品などの手配

カード、ペン、クラフト紙については日本から持参した。ボードは現地で4、5枚用意された。PDMの作成のみであったため、十分であった。

(5) 現地ワークショップとの連携

現地タンザニアでは、今回の調査に先立ち、プロジェクトの関係者を集め、ドイツ技術協力公社(GTZ)が育成したタンザニア人モデレーターによる5日間のPCM(ZOPP:G

ＴＺによる同手法の呼び方)ワークショップを既に実施している(1998年3月2～6日ダルエスサラームで開催)。この1回目ワークショップでは、ソコイネ農業大学の農学部関係学科長と、地域開発に関する他省庁の関係者を参加者とし、幅広く意見を交換しつつ、PCMの各種の分析とPDM案(第1案)の作成が行われた。2回目にあたる今回は、タンザニア側参加者を大学のプロジェクト実施準備に係るタスクフォース7名に絞り、第1回ワークショップの結果を深める形で、PDMの作成に重点を置いて行われた。GTZによるZOPP手法では、PDMの作成と内容の詰めに甘い点があり、今回、その点を補完する形となった。

なお、1回目のワークショップの記録を見る限り、その内容は高く評価される。その際モデレーターを行ったDr.L.Lwambuka(Faculty of Engineering, University of Dar es Salaam)と会談したが、同氏は訓練をドイツで受け、既に50回以上のモデレーター経験をもつ。今後、現地のコンサルタントを活用した現地でのワークショップの実施を積極的に進めるべきであろう(同氏によれば、タンザニアには氏のほか4名のモデレーターがいるとのこと)。

4-3 ワークショップの結果

(1) PDMの作成

作成されたPDMについては、取り交わされたミニッツ(付属資料1)参照。

当プロジェクトの特徴は、持続性のある農村開発手法の確立という目的のため、パイロットプロジェクト2箇所を設定し、実際にその地で農村開発を試み、その活動と成果の結果を得て、今後広域で活用可能な手法を確立するというものである。つまりひとつの援助プロジェクトの枠のなかに、2つの小さなプロジェクトが入れ込まれており、2つのプロジェクトの具体的な内容(目標設定や指標など)は、プロジェクトの「活動」である調査にかかっている。大きなプロジェクトの目標である手法の確立には、パイロットプロジェクトの成功(目標の達成度)を示すことが不可欠であるが、計画作成時では具体的なパイロットプロジェクトの目標を設定できない。なぜなら、その目標設定もプロジェクトの活動と成果の一部となっているからである。その点を全体のプロジェクトの目標指標として、どのように示せるかが、ワークショップの議論の中心になった。

(2) 円滑な進行の理由

ワークショップが成功裡に進んだ理由として、以下があげられる。

- 1) 実施機関であるソコイネ農業大学農学部と京都大学を中心とするJICAの研究協力が過去3年続けられており、研究協力で派遣された個別専門家(角田学氏)とタンザニア側研究者(タスクフォースの面々を含む)がパイロット・プロジェクトとなるサイトの現状をよく理解している。また、研究協力を通じ協力体制を大学内につくってきた土壌がある。

- 2) 既に、PCM/ZOPPワークショップがJICAタンザニア事務所の支援で実施されており、関係者間で手法の基本的考え方が理解されている。そのため、ワークショップの進行については、手法の理論の理解ばかりでなく必要消耗品、会場の設営なども、全く問題がなかった。
- 3) タンザニア側タスクフォースがワークショップを終始リードし、積極的に参加した。
- 4) ソコイネ農業大学のセンターのあり方について、同大学の学長、農学部長、更には農業大臣など、決定権者の基本的考え方が共通しており、今回のプロジェクトを強く支えるものである。つまり、センターで考えるべきことは、実際に活用される技術や知識であり、村民に直接貢献しうるものでなければならない、ということであった。
- 5) 日本側調査団のうち、杉山団長、掛谷教授とも20年以上のアフリカ経験をもち、現地事情に通じており、角田専門家と共に、ワークショップ中もタンザニア側と的を射た意見交換ができた。

(3) ワークショップの評価(関係者の反応)

- 1) プロジェクトにおける活動の自由度も包含する形を取りつつ、目標が明快になったPDMが作成されたこと、それ自体大きな成果ではあるが、更に次の点がワークショップで明確になった。
 - ① タンザニア側と十分な話し合いをもてたこと。調査団にとってはタンザニア側の意図がよくわかった。
 - ② ワークショップを行うまで話題にのぼらなかった点、気が付かなかった点が明らかになったこと(「新しい発見」があった)。
- 2) タンザニア側の参加者からのコメントは、以下に示すように好評であった。
 - ① (冗談半分に)なかなか自分のカード(意見)をモデレーターに認めてもらえなかったから、悔しかった。
 - ② 非常に考えさせられた。
 - ③ JICAからの予算措置を甘く考えていた。
 - ④ おもしろかった。
 - ⑤ 自分たちのやるべき事が見えてきた。

5. プロジェクト協力の基本計画

5-1 協力対象

地域開発の最終の裨益者はモデル地区の住民であるが、プロジェクトの直接の協力対象者はソコイネ農業大学の教官となる。地域住民、政府職員、N G O、国際機関、他の援助機関などは、持続可能な地域開発手法(S U Aメソッド)を練りあげていくための重要なパートナーとして位置づけられる。

5-2 協力範囲

地域開発センターには、センター長のもとに、資源管理、環境保全、社会経済の3セクションと、それらのセクションの活動の調整と統合を図り持続可能な地域開発を進めるための統括委員会及び情報の整理や発信を行う情報処理ユニットを置く。タスクフォースが提案していたセンターの組織(5分野から構成される案)について協議した結果、3分野(資源管理・環境保全・社会経済)と1ユニット(情報処理)の構成とすることになった(既存の建物の修復と拡張の規模・内容については、この組織案に沿って再検討するよう要請した)。

日本側は、これらの3セクション、統括委員会、1ユニットの活動を支援し、調査・解析・分析の手法を核とした技術移転によって、地域開発センターの機能を強化し、人材の育成を図る。

5-3 協力内容

以下の項目の技術移転をととして、地域開発センターの機能と能力の向上及び人材の育成を図る。

- (1) 地域開発センターの運営方法
- (2) 情報の収集と処理に関する手法
- (3) 実験・調査機器の操作と維持にかかわる方法
- (4) 資源管理、環境保全、社会経済に関するフィールド調査手法
- (5) 調査結果の分析手法
- (6) パイロットプロジェクトの計画・実践・評価手法

ただし、持続可能な地域開発の手法(S U Aメソッド)は、プロジェクトの参加者すべてがアクターであるという視点を重視している。それゆえ日本側からの技術移転は、参加者がそれぞれの知識・経験・方法を結集していく触媒の役割を果たすことが中心的な課題となる。

5-4 活動内容

ソコイネ農業大学に地域開発センターを確立し、2つのモデル地区での活動をととして持続可

能な地域開発手法(SUAメソッド)を開発する。

(1) モデル地区における活動

対象地区は、ムビンガ県のマテング高地及びモロゴロ地方県のウルグル山域とする。マテング高地は、研究協力時の対象地区であり、その成果を踏まえてパイロットプロジェクトを進める。それぞれのモデル地区には、上述の予算計画、施設・機材・設備の整備計画に従ってフィールドステーションを設置する。

1) マテング高地

- ① 地域の実態把握調査
- ② キーとなる問題群とポテンシャルの把握及びプライオリティーの確定
- ③ パイロットプロジェクト計画の策定
- ④ パイロットプロジェクトの実践
- ⑤ 結果のモニタリングと評価

2) ウルグル山域

モデル地域の予備調査と地域住民との関係づくりの後、マテング高地と同様の活動を行うが、マテング高地での経験を検証しつつ実施することになる。

(2) モデル地区の現況

本プロジェクトにおいては地域開発手法を開発する過程で、事例研究・実証を行う目的で2つのモデル地区で活動することを想定している。対象候補地はムビンガ県(Mbanga District)に位置するマテング高地及びモロゴロ地方県(Morogoro District)に位置するソコイネ農業大学付近のウルグル山域であるが、本調査団においては、後者についての現況視察を行った。

モデル地区候補地のひとつであるウルグル山域は、本プロジェクトの拠点となるソコイネ農業大学裏手に位置する標高約2,000メートルの山域である。対象地区はMatomboという村落を想定しているが、現段階では、Matombo村に関する調査は行われていないため、詳細についてはプロジェクト開始後の調査結果を待つことになる。

本調査における現況視察では車両で移動し、視察をする予定であったが、悪路のためソコイネ農業大学からモデル地区候補地の中間地点まで片道3時間かけて移動したところで時間切れとなった。対象地区はかなり奥地に位置することに加え、村にアクセスする道路がほとんど整備されていない。悪天候の下で対象地区に到達することは困難を極めることが予想される。車両の確保は、プロジェクト実施の非常に重要な要素であり、活動の命綱ともいえる。

(3) 持続可能な地域開発手法(SUAメソッド)の開発

1) モデル地区における活動経験の蓄積と検証

SUAメソッドは、ミニッツ ANNEX IIIに示したようにW型[川喜田(1993)を参考]のプロセスを取り、実態把握に基づいて地域が抱えるキーとなる問題群とポテンシャルを探り出し、在来の知識・技術と環境に配慮した独自の参加型地域開発を進める手法である。それは、「やりながら考える」ことを重視し、各段階での結果をフィードバックしつつ経験を蓄積していく手法である。それゆえ、2つのモデル地域での活動経験を検証し、フィードバックによる改良を加え、理論的な検討を深めながら発展を図っていく。

2) 国内外における持続可能な地域開発に関連した事例の比較・検討

地域開発を実践しているNGO、国際機関、JICAプロジェクトなどのうち、適正な事例を取り上げて手法の比較・検討を進める。また、主として国内を対象として在来の技術・知識・制度についての具体的事例の調査を進め、その国内移転の可能性を探る。それらの成果は、モデル地域におけるW型の実施プロセスの各段階で取り入れ、SUAメソッドの発展を図る。

3) ワークショップ/セミナーの開催

W型の実施プロセスの要所で、課題に対応した関係者(地域住民、地方自治体職員、NGOや他の援助関係者など)を含めてワークショップやセミナーを開催し、経験の交流、問題の発見と共有化、展開方法の検討などを進め、SUAメソッドの発展を図る。

4) 情報の蓄積と発信

W型の実施プロセスの各段階で、それまでに蓄積された情報を整理・分析し、その結果を発信していき、開かれた体制のもとでSUAメソッドの発展を図っていく。

5-5 専門家派遣計画

(1) 長期専門家

地域開発センターの組織と活動内容に対応して、以下の分野での長期専門家の派遣が要請された。

- ① チーフアドバイザー
- ② 業務調整
- ③ 資源管理
- ④ 環境保全

⑤ 社会経済

このプロジェクトは、前述したようにW型の実施プロセスに従って運営され、各段階での成果を踏まえながら進められるので、特に資源管理、環境保全、社会経済の専門家の派遣については、指導内容、派遣の時期や方法などを考慮し、柔軟な対応が必要である。

(2) 短期専門家

プロジェクトの円滑で効果的な実施のために、実施プロセスの要所での活動内容に応じて必要な短期専門家を派遣するよう、要請があった。

専門家派遣の詳細については、短期調査において十分な協議を行うこととなった。

5-6 研修員受入計画

カウンターパートの研修は、プロジェクト年間計画に沿って実施されるが、ソコイネ農業大学側からは、若手スタッフとシニアスタッフに分け、その役割と資質に対応した研修を実施するよう要請があった。この要請に対しては、本邦での予算、受入体制に応じて検討する必要があるが、それらの詳細については、短期調査の際に協議することとする。

5-7 機材供与計画

プロジェクトの効果的な実施のために、以下の資機材供与の要請があった。

- (1) フィールド調査・活動のための車両
- (2) フィールド調査用機材
- (3) 実験調査用機材
- (4) 情報処理機材

このプロジェクトは、2つのモデル地域での調査・実践を核としており、特にフィールド調査・活動のための車両の確保が極めて重要であると思われる。それゆえ、プロジェクト開始時に、速やかに対応できるよう十分に検討する必要がある。

6. 専門家の生活環境

6-1 住宅事情

プロジェクト開始後、長期・短期を含め5～6名程度の日本人専門家がソコイネ農業大学の位置するモロゴロ地方県に常駐することになる。タンザニア側は、ソコイネ農業大学内の教官用住宅を日本人専門家に提供するとしている。現在、同大学に派遣中の個別専門家にはその形態が取られているが、学内の教官用住宅は戸数も限られている。本調査時、学内の提供可能な住居を視察したが、専門家が居住可能な状態にするには、大幅な修復やフェンスの取り付けなどの安全対策の必要性が見受けられた。

6-2 教育事情

モロゴロ地方県にはインターナショナルスクールがあり、現在、幼稚園部門が2年制1クラス(10～18名)、小学校部門が7年制1クラス体制(10～18名)で運営されている。英国の教育方針がベースとなっており、授業はすべて英語で進められる。また、首都ダルエスサラームには、日本人子女のための補習校もあり、在留届に応じて教科書が配布される。夏休みなどの長期休暇を利用して、同補習校の授業を受けることも可能である。

中学以上の教育については、モロゴロ地方県にインターナショナルスクールが存在しないことから通信教育などに頼らざるを得ない状況である。

6-3 治安事情

首都ダルエスサラームに比べ、特に凶悪な犯罪は少ないといえるが、安全面には十分留意する必要がある。夜間ひとりでの外出は避け、車両で移動するべきである。緊急時の連絡は、電話事情が悪い時もあるので無線などを設置して対応することが望ましい。また、警備員の雇用や防犯設備(フェンス、鉄格子、鍵など)の整備をするなど、防犯に備えたい。

6-4 生活事情

町にはスーパーもあり、食料品や日用品の調達には特に問題はない。輸入食料品以外の現地で生産されている主な食料(米、野菜、肉、果物)については、市場で入手できるが、新鮮な魚介類は水域から離れていることから入手困難である。調味料もスーパーで購入でき、食材のほとんどは、首都に比べ値段も安い。

ソコイネ農業大学には、常時一定の電力量が確保されているため、学内に住んでいる場合、比較的停電は少ないが、年間2、3日程度の割合で全学停電になる。

水事情は悪く、水タンクを家屋に設置する必要がある。飲料水については、水道水をそのまま

で飲用せず、沸騰させた後、フィルターでろ過して使うか、ミネラルウォーターを購入する。

6－5 医療事情

タンザニア国はマラリア汚染地帯であり、モロゴロ地方県もマラリアにかかりやすい地域といえる。重病の場合、医薬品や医療施設が十分でないため、首都ダルエスサラームで治療すべきであろう。

付 属 資 料

付属資料1 ミニッツ

付属資料2 タンザニア側から提出された
地域開発センター長期(10年)活動計画書

付属資料3 タンザニア側から提出された施設計画書

付属資料4 タンザニア側から提出された
現地PCM/ZOPPワークショップ報告書

付属資料5 調査時議事録

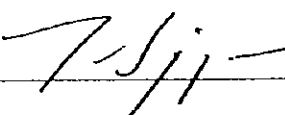
THE MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE PRELIMINARY STUDY TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE UNITED REPUBLIC
OF TANZANIA
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE PROJECT ON SOKOINE UNIVERSITY OF AGRICULTURE CENTRE FOR
SUSTAINABLE RURAL DEVELOPMENT

The Japanese Preliminary Study Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Takahiko Sugiyama, visited the United Republic of Tanzania from May 4 to May 14, 1998 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program on Sokoine University of Agriculture Centre for Sustainable Rural Development Project (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the United Republic of Tanzania, the team exchanged views and had a series of discussions with the Tanzanian authorities concerned of the government of the United Republic of Tanzania with respect to the preferable measures to be taken by both governments for the smooth implementation of the Project.

As a result of the discussions, the Team and the Tanzanian authorities concerned agreed to report to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Morogoro, May 11, 1998



Takahiko Sugiyama
Leader
Preliminary Study Team
Japan International
Cooperation Agency
Japan



A.B. Iwoga
Vice Chancellor
Sokoine University of
Agriculture
United Republic of Tanzania

THE ATTACHED DOCUMENT

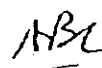
The meetings between JICA and Tanzanian authorities concerned were held from May 5 to May 11, 1998 at SUA Morogoro campus in Tanzania with the participants listed below:

Tanzanian Side

Prof.A.B Lwoga	Vice Chancellor,SUA
Prof.P.M Msolla	Deputy Vice Chancellor, SUA
Mr.S.P.Mkoba	Registrar, SUA
Dr.N.Halibu	Dean, Faculty of Agriculture
Dr.R.P.C. Temu	Associate Dean, Faculty of Forestry and Nature Conservation
Prof.D.M.Kambarage	Dean, Faculty of Veterinary Medicine
Dr.R.M.Wambura	Director, Institute of Continuing Education
Dr.B.J.Kasimila	Director, Development Studies Institute
Dr.A.Z.Mallee	Task Force Chairman
Prof.D.F.Rulitora	Task Force Member
Prof.G.L.Mwamengele	Task Force Member
Dr.A.J.P.Tarimo	Task Force Member
Dr.G.C.Monela	Task Force Member
Dr.A.C.Isinika	Task Force Member
Mr.R.L.Massawe	Task Force Member

Japanese Side

Mr.T. Sugiyama	Team Leader
	Development Specialist, JICA
Mr.K. Yoshio	Director, Educational and Cultural Exchange Office
	Ministry of Education, Science, Sports and Culture
Dr. M. Kakeya	Professor, Kyoto University
Ms.N. Okada	Deputy Director, Department of Planning & Program,
	Foundation for Advanced Studies on International
	Development
Ms.T. Ueda	Associate Expert, JICA Headquarters
Dr.M.Tsunoda	JICA Expert, SUA
Mr.M.Furukawa	Assistant Resident Representative, JICA Tanzania Office



BACKGROUND OF THE PROJECT

The collaborative research project called "Miombo Woodlands Agro-ecological Research " was implemented with the assistance of JICA with the goal of promoting the productivity and sustainability of the indigenous agricultural system in Mbinga District. From this project, important lessons were learned which need to be further developed for the benefit of rural communities in Tanzania.

I. OBJECTIVE OF THE PROJECT

(1)Super Goal

The super goal of the Project is to improve the standard of living for rural people in Tanzania.

(2)Overall Goal

The overall goal of the Project is to apply the SUA method outlined below to new areas by Sokoine University of Agriculture Centre for Sustainable Rural Development (hereinafter referred to as "SUA CSRD") and other organisations as well as to improve standard of living for rural people in the model areas. In addition, the SUA CSRD will enable the University to provide leadership and strengthen rural development for poverty alleviation, in line with its long term strategic plan.

(3)Project Purpose

The purpose of the the Project is to develop sustainable rural development method (SUA method) in two model areas.

II. SCOPE OF TECHNICAL COOPERATION

(1) The project will be known as the project for Sokoine University of Agriculture Centre for Sustainable Rural Development.

(2) The duration of the technical cooperation will be five years from the date which is to be agreed between the Japanese Implementation Study Team and the Tanzanian authorities concerned.

(3) During the cooperation period, SUA CSRD will be established for the purpose of realizing capacity development and institution building. The structure of SUA CSRD and the field to be covered are shown in ANNEX I.

(4) The SUA CSRD will be stationed at Sokoine University of Agriculture in Morogoro campus for the implementation of the project and shall cover the following Districts as model areas:

Mbinga (Matengo highlands)

Morogoro (Mt.Uluguru area)

The Project will also have outreach stations at both model areas.

(5) Target group of the project will be SUA staff in order to produce rural development implementors able to plan, implement, and evaluate effective and applicable rural development in Tanzania with adequate field experiences through participatory approach for community development in the rural areas of Tanzania.

In addition, villagers, local government officers, NGOs, and international organisations will be important partners for the development of the method as shown in ANNEX II.

(6) Outputs of the Project

The following outputs are anticipated under the Project:

- (a) SUA CSRD will be established physically.
- (b) The reality of the model areas will be understood.
- (c) Key community problems and potentials will be prioritised with the community.
- (d) Relevant rural development experiences in and outside Tanzania will be surveyed and documented.
- (e) The plans of intervention to the community will be formulated.
- (f) The plans of pilot projects in model areas will be implemented.
- (g) Monitoring and evaluation will be conducted.

(7) Contents of capacity development through transfer of technology

Transfer of technology by Japanese experts will cover the following areas for development of the rural development method to the counterpart personnel of SUA CSRD:

- (a) management of SUA CSRD
- (b) information processing skills
- (c) techniques of operation and maintenance of experimental equipment and apparatus
- (d) field survey techniques in socio-economy, environmental conservation, and resource management
- (e) project management skills

III. OUTLINE OF SUA METHOD

SUA method is a concept which recognises the villager's biophysical strategies such as bio-diversity, micro-environments, multi-purposeness, and socio-economic strategies like mutual cooperation, exchange of experiences, and social security.

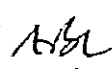
The SUA method is intended to be multifaceted, multidisciplinary, and participatory; and will draw on the indigenous knowledge of the people in order to understand the reality of rural community, and make plans and practice based on this reality as shown in ANNEX III.

IV. INPUTS TO THE PROJECT BY THE JAPANESE SIDE

(1) Dispatch of Long-term Experts

Chief Advisor

Coordinator



Long term experts in the fields of:

- Socio-economy
- Resource Management
- Environmental conservation

(2) Dispatch of Short-term Experts

Short-term experts may be dispatched according to the needs for the smoother implementation of the Project.

(3) Training of Counterpart Personnel in Japan

Counterpart personnel will be trained in Japan according to the annual work plan of the project as long as the budget allocated for the technical cooperation allows.

(4) Provision of Equipment

The necessary equipment will be provided for the effective implementation of the Project as listed below within the budget allocated for the technical cooperation:

- Apparatus and equipment for experiments
- Information processing equipment
- Field survey equipment
- Vehicles for field survey and activity at model areas

V. INPUTS TO THE PROJECT BY TANZANIAN SIDE

(1) Assignment of counterpart personnel

The Tanzanian side will assign five (5) SUA senior staff as the Director, heads of the three sections (socio-economy, environmental conservation, resource management) and in-charge of information unit. It will be most desirable that these staff are allocated on full-time basis to CSRD. In addition, Tanzanian side will do its best to recruit junior staff to participate in the activities of the SUA CSRD. In this regard, the Tanzanian side requested the Japanese side to consider the possibility of supporting the staff development of any junior staff who may be recruited to SUA CSRD.

(2) Assignment of administrative Personnel

The Tanzanian side will assign seven(7) administrative personnel necessary to implement the Project.

- One(1) Administrative officer
- Two(2) Secretaries
- One(1) Office Assistant
- Three(3) Drivers

(3) Land, buildings, and facilities

- Land, buildings, and facilities for the Project
- Offices, accommodation, and other necessary facilities for the Japanese experts

The Tanzanian side requested to consider the allocation of JICA budget necessary for the improvement of existing building and facilities in case the Tanzanian budget is not enough.

7.5.

ABC

(4) Allocation of Budget

- Salaries and other allowances for the Tanzanian staff
- Expenses for electricity, water, gas, fuel and other contingencies
- Operational expenses for customs clearance, storage, domestic transportation and installation of the equipment provided by the Japanese side
- Expenses for maintenance of facilities and equipment
- Other necessary local expenses

VI. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

(1) Vice Chancellor of SUA will have overall responsibility for the Project.

(2) Director of SUA CSRD will have administrative and technical responsibilities for the implementation of the Project.

(3) The Joint Coordinating Committee, which consists of both the Tanzanian and the Japanese sides, will be established for the smooth and effective implementation of the Project.

(a) Functions

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year or whenever the necessity arises in order to fulfill the following functions;

- (i) To formulate the Annual Work Plan of Operation of the Project
- (ii) To review the overall progress of results of the project and achievement of the technical cooperation programme as well as the Annual Plan of Operation
- (iii) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the Project

(b) Membership (ANNEX VI)

(i) Tanzanian side:

- Vice-Chancellor, SUA (Chairperson)
- Deputy Vice-Chancellor, SUA
- Registrar, SUA
- Director, SUA CSRD (Secretary)
- Dean, Faculty of Agriculture
- Dean, Faculty of Veterinary and Medicine
- Dean, Faculty of Forestry and Nature Conservation
- Director, Institute of Continuing Education
- Director, Development Studies Institute
- Director, Directorate of Research and Post Graduate Studies
- Director, Sokoine National Agricultural Library
- Coordinator, Basic Studies Unit
- Heads of Sections & Unit, CSRD
- Representative of Ministry of Science, Technology, and Higher Education
- Representative of Ministry of Local Government

T.S.

ABC

(iii) Japanese side

- Chief Advisor
- Coordinator
- Experts
- Representative(s) of JICA Tanzania Office
- Members of JICA study team

Note : if necessary, Official(s) of the Embassy of Japan in Tanzania may attend the Joint Coordinating Committee meeting as observer(s).

VII. PROJECT DESIGN MATRIX

The Team explained that the Project Design Matrix (hereinafter referred to as the "PDM") is commonly used in Japanese project-type technical cooperation in order to manage and implement projects clearly, efficiently and effectively. It is also used as a reference for monitoring and evaluating projects.

PCM workshop necessary for the preparation of PDM was held on 6th to 8th, May 1998 at SUA. Through the discussions during the workshop, both sides agreed to apply the PDM as shown in ANNEX IV to the project with the following understandings :

- (1) The PDM is a logically designed matrix which defines the initial understanding of the framework for the Project and indicates the logical steps towards the achievement of the Project Purpose.
- (2) The PDM is to be flexibly developed according to the progress and achievements of the Project, upon agreement between the Tanzanian and the Japanese sides.

VIII. TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

The Tentative Schedule of Implementation is shown in ANNEX V.

IX. ORGANISATION CHART

The organisation chart of the joint coordinating committee is shown in ANNEX VI

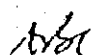
X. OTHERS

(1) Before the supplementary study, the Tanzanian side has been requested to work on the following issues :

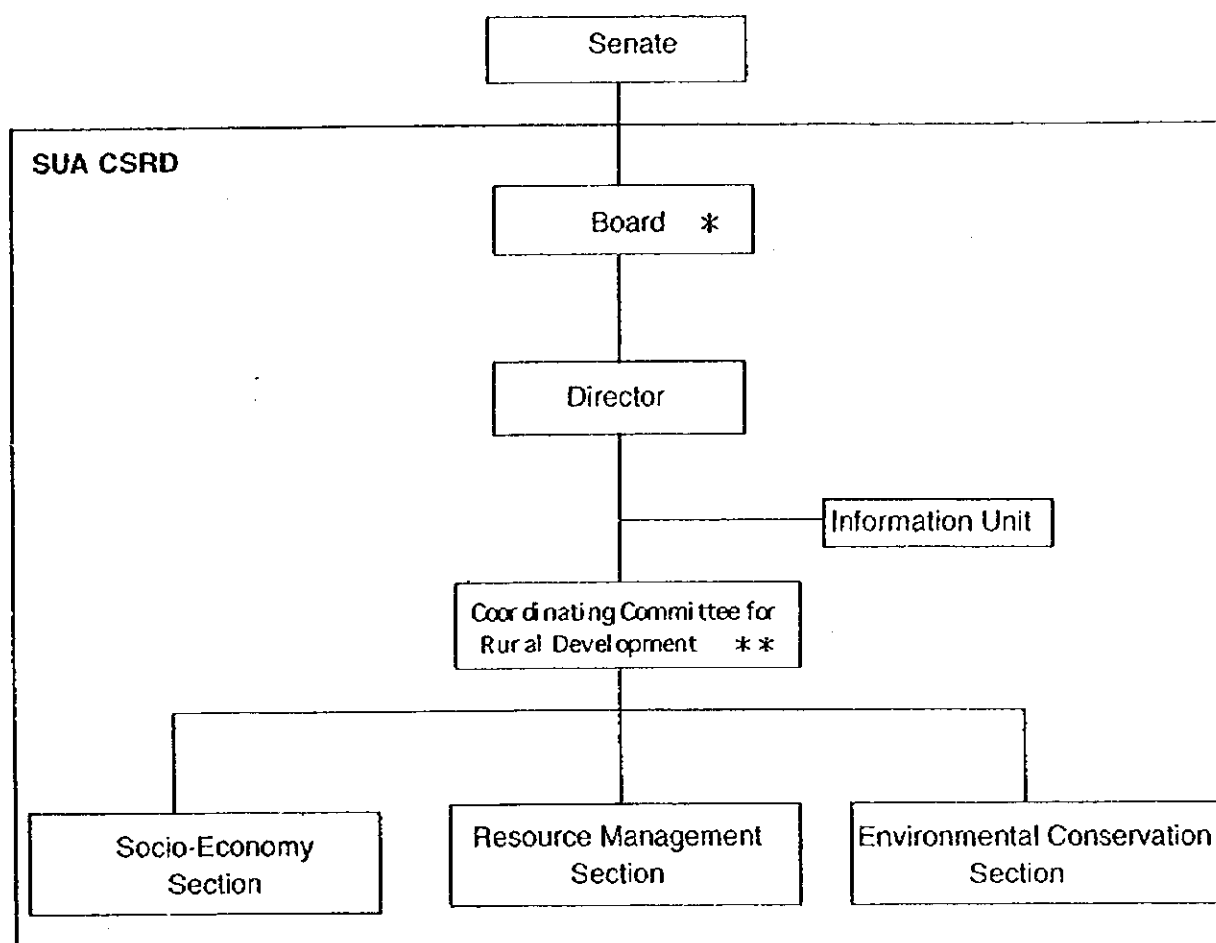
- (a) To prepare a revised plan for renovation of physical facilities, including minimum work needed in order of priority, possible phasing of the work, and the contribution of SUA to the renovation work

- (b) To prepare a comprehensive one year budget for the running cost of SUA CSRD, when it becomes fully operational
- (c) To make every effort to ensure that the proposal to establish SUA CSRD is approved by the relevant authorities
- (d) To make a reasonable effort to secure the necessary resources, including facilities and budget for running costs to facilitate a smooth take off of SUA CSRD

(2) The respective roles and responsibilities of the Director of CSRD, Chief Advisor, and Coordinator on the project will be among the issues to be discussed.



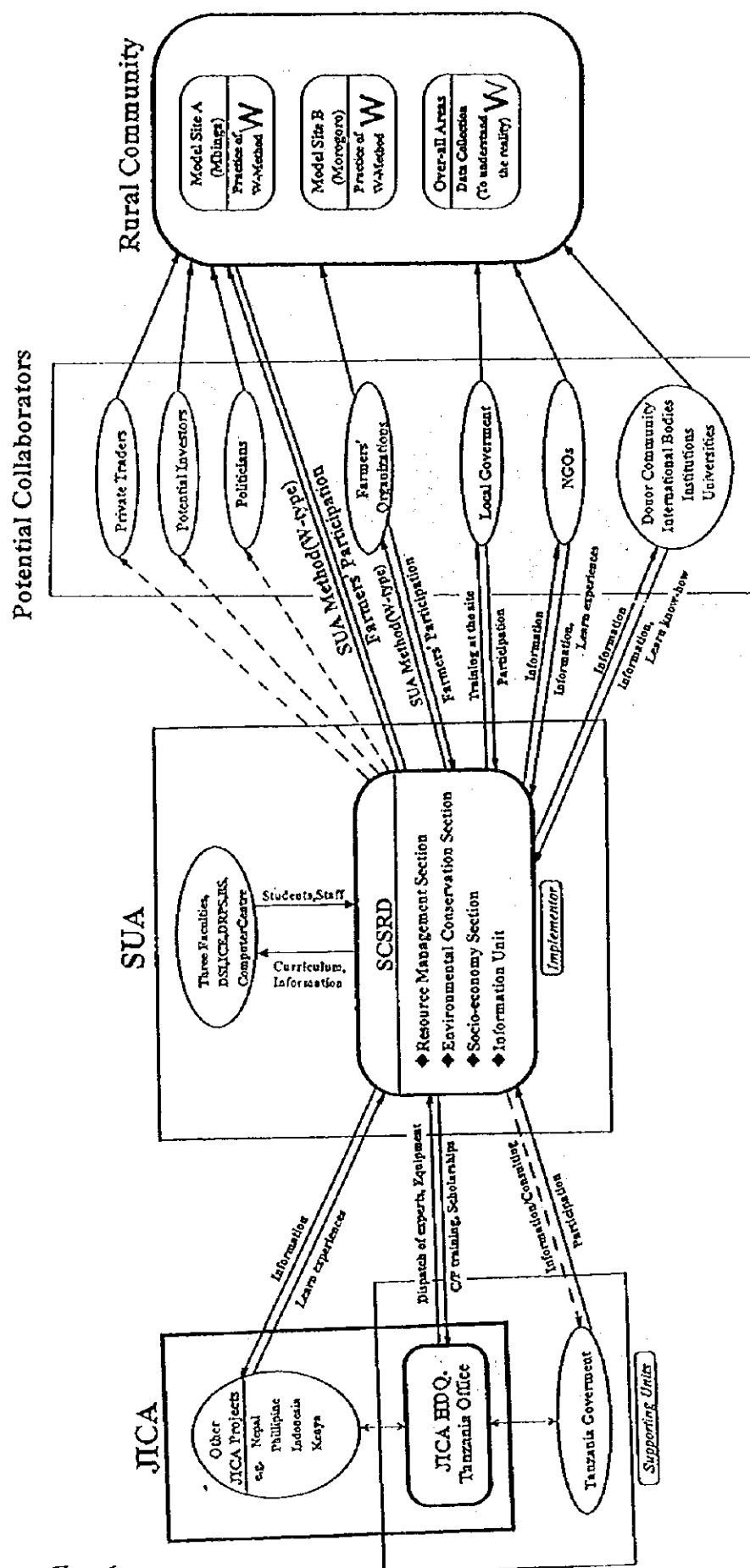
Structure of the SUA Centre for Sustainable Rural Development



*** Membership of the Board**

- Director, CSRD (Chairman)
- Heads of Sections & Unit, CSRD
- One representative from each Faculty, ICE, DSI and BSU, DRPS
- One representative from Ministry of Community Development, Women Affairs and Children
- One representative from Ministry of Agriculture and Cooperatives
- One representative from Planning Commission, President's Office
- One representative from each District Council in collaborating District
- One representative from an NGO concerned with natural resource conservation
- One member from IRA, University of Dar es Salaam

**** Composed of the Director and Heads of Sections & Unit**



Service Link Structure to the Rural Community

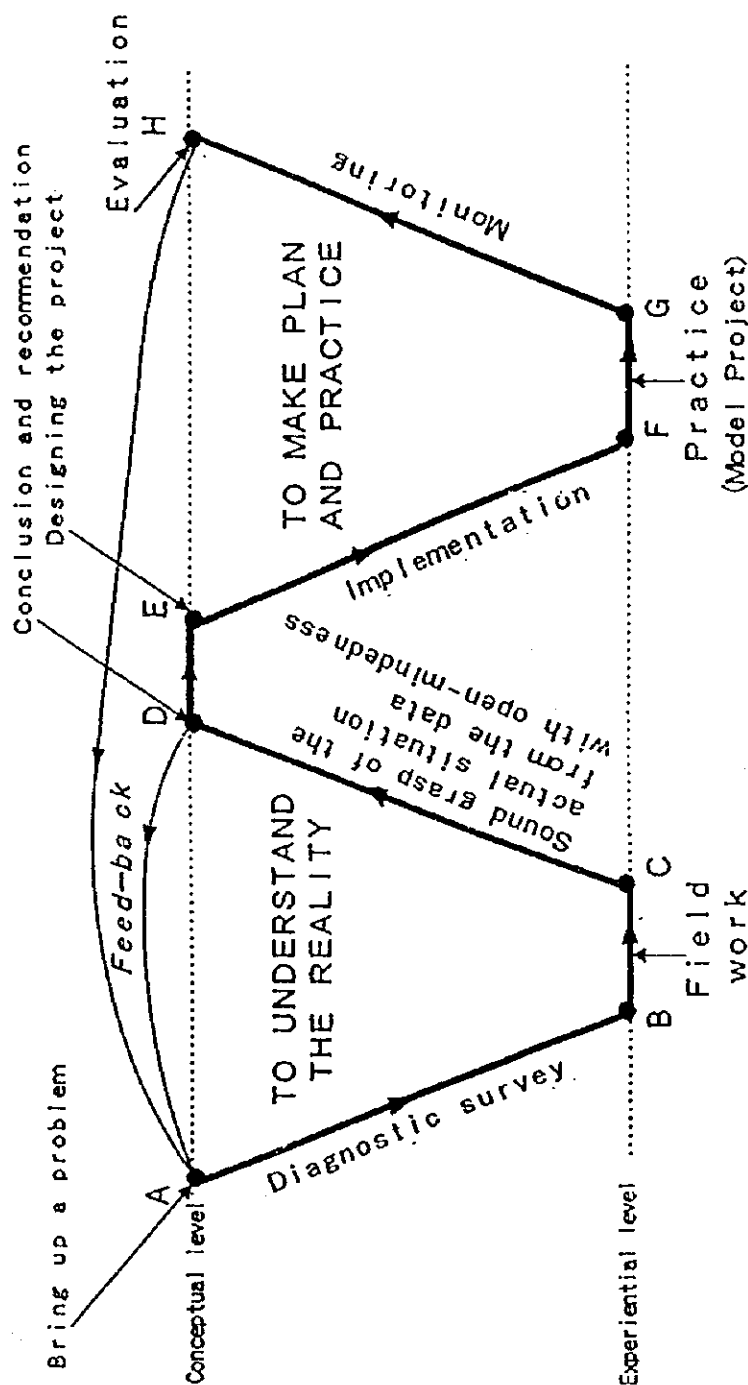


Fig. SUA Method (W-Type)*

* [川喜田 (1993) を参考]

PDM: SUA Centre for Sustainable Rural Development (CSR)

Country: Tanzania

Production: Result of the Workshop held in Morogoro from 6 to 8 May 1998

Recorded Date: 11 May 1998

Project Summary		Verifiable Indicator	Means of Verification	Assumptions
Super Goal: Standard of living for rural people is improved in Tanzania				
Overall Goal				
1. SUA method is applied to new other areas by the centre and other organizations. 2. Standard of living for rural people in the model areas is Improved.	1-1. No. of new areas working with the centre 1-2. No of institutions applying SUA method 2. Socio-Economic indicators*	1-1 Centre records 1-2 Surveyed by the centre 2. Survey in model areas by the centre.		
Project Purpose: Sustainable Rural Development Method (SUA method) is developed in two model areas (Matengo highlands & Mt. Uluguru area).	Documentation produced by the centre which includes the results of the pilot projects**	Centre documentation		

* Socio-economic indicators covers those in health, environment, social and cultural aspects, and economy.

** The indicators for success of the pilot projects are: 1. The villagers' satisfaction, 2. Key issues are solved, 3. Intended impacts of the key issues solved,

4. Sustainability of the institutions in the community within the pilot projects

Outputs	Verifiable Indicators	Means of Verification	Assumptions
1. The Centre is established.	1. Physical structure, staff deployment budget allocation, provision of equipment, institutional status,	1. Site observation, staff employment record, budget book, inventory book, SUA legal documents.	
2. Practical reality of the model areas is understood.	2. Report for each item of the survey checklist	2. Preliminary survey reports available in the centre.	
3. Key community problems and potentials are prioritized by the community.	3-1. No. of organs established 3-2. No. of key issues with their potentials prioritized	3. Village records in model areas/ centre records.	
4. Relevant rural development experiences in and outside Tanzania are surveyed.	4-1. Documentation of survey results 4-2. No. of experiences surveyed 4-3. No. of site visits in and outside Tanzania	4. M&E reports at the centre.	
5. The plans of intervention to the community are formulated.	5-1. Overall plan documents 5-2. Documents of detailed plan (strategies of the project)	5. Documents prepared by the centre and the committee.	
6. The plans of pilot projects in model areas are implemented.	6. No. of activities implemented	6. Periodic reports on the pilot projects.	
7. Monitoring and evaluation are conducted.	7. Monitoring and evaluation reports	7. M&E reports at SUA centre	

NA

Activities	Inputs	Assumptions
1-1. Draw up an organizational structure 1-2. Acquire funds. 1-3. Recruit personnel. 1-4. Procure equipment etc. 1-5. Establish outreach stations in model areas	<Running Cost> administrative cost (stationery, communication, etc.) field activities, implementation of pilot projects, personnel, electricity, water, maintenance of the centre and other supplies <Cost for> exchange programs, workshop/seminars, in country training for junior staff, dissemination of the project results, acquisition of relevant literature, farmer training, <u>study visits, training for senior</u> <u>staff</u>	a. The staff in the centre stays in the project.. b. The staff in the centre stays in the project.
2-1 Make a checklist for data collection. 2-2 Collect basic and indigenous knowledge data from farmers in model areas. 2-3 Analyze data from model areas 2-4 Review past experiences in model areas 2-5 Conduct comparative studies	<Facility: Building> staff offices, meeting/seminar room, garage, outreach stations, information processing room, resource centre***, staff lounge <Equipment for > vehicles for field work, data processing, furniture for the centre and outreach stations, garage, publication, lab. works, field studies, communication <Personnel> Administration Director of the centre, Administrative officer(1), Office attendant(1), Secretary(2), Senior mechanic/driver(1), drivers(2), Japanese chief advisor, Project coordinator Scientists section heads (resource management, environment preservation, socio-economy), head of information unit, Junior staff for each section, other SUA staff on need, Japanese experts Field staff field attendants (3), extension workers, support staff	Preconditions 1. SUA council will approve the establishment of the centre. 2. Commitment of SUA: -Appointment of director, and heads of sections -Allocation of budget -Provision of facilities 3. SUA employs junior staff members for the centre.
3-1 Establish organs to coordinate development activities. 3-2 Conduct diagnostic surveys 3-3 Undertake PRA activities. 3-4 Conduct in-depth study on specific issues 3-5 Analyze the cause and effect relations among identified problems		
4-1 Conduct literature review on relevant models and experiences. 4-2 Organize panel discussions on rural development by key stakeholders. 4-3 Conduct case studies of specific indigenous efforts (institution, technologies, knowledge)		
5-1 Establish mechanism for planning 5-2 Prepare a program including objectives, strategies, inputs etc 5-3 Clarify roles and responsibilities of the people involved.		
6-1 Mobilize resources for implementation 6-2 Establish an institutional arrangement for implementation		
7-1 Compose monitoring and evaluation teams 7-2 Develop M&E framework 7-3 Monitor and evaluate the pilot projects with the M&E framework 7-4 Assess completion of the SUA method itself		

*** The resource centre includes library, dark room, cold room, and storerooms, Underlined: Japanese contributions are requested.

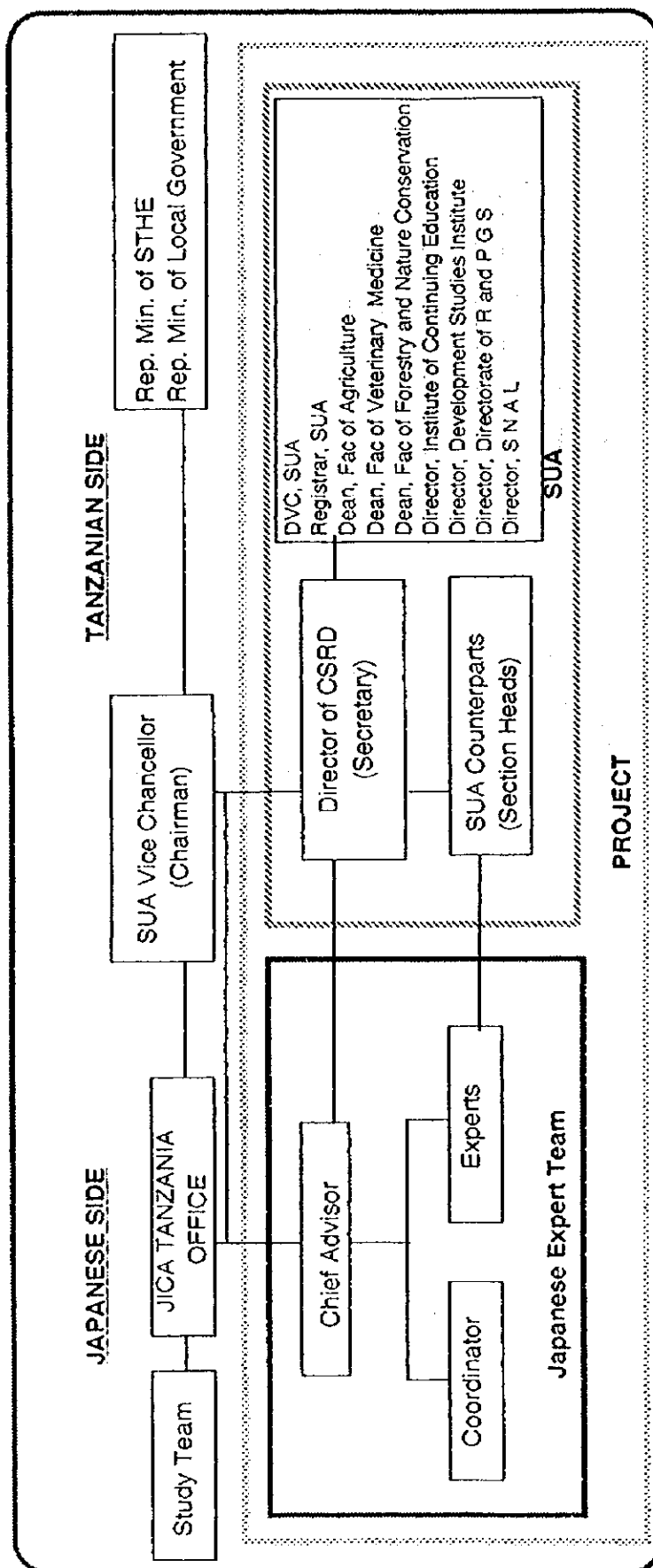
1-5

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

Activities	1999	2000	2001	2002	2003	2004
I. Term of Cooperation						
II. Inputs by the Tanzanian Side						
1. Assignment of counterpart personnel						
2. Assignment of administrative personnel						
3. Allocation of budget						
III. Inputs by the Japanese Side						
1. Dispatch of long-term experts						
2. Dispatch of short-term experts						
3. Provision of equipment						
4. Training of counterpart personnel in Japan						
5. Dispatch of consultation/evaluation teams						
IV. Joint Coordinating Committee						
V. Activities in SUA CSRD						
1. Establishment of CSRD						
2. Development of SUA method						
VI. Activities in Model Areas						
1. Mbinga						
2. Morogoro						

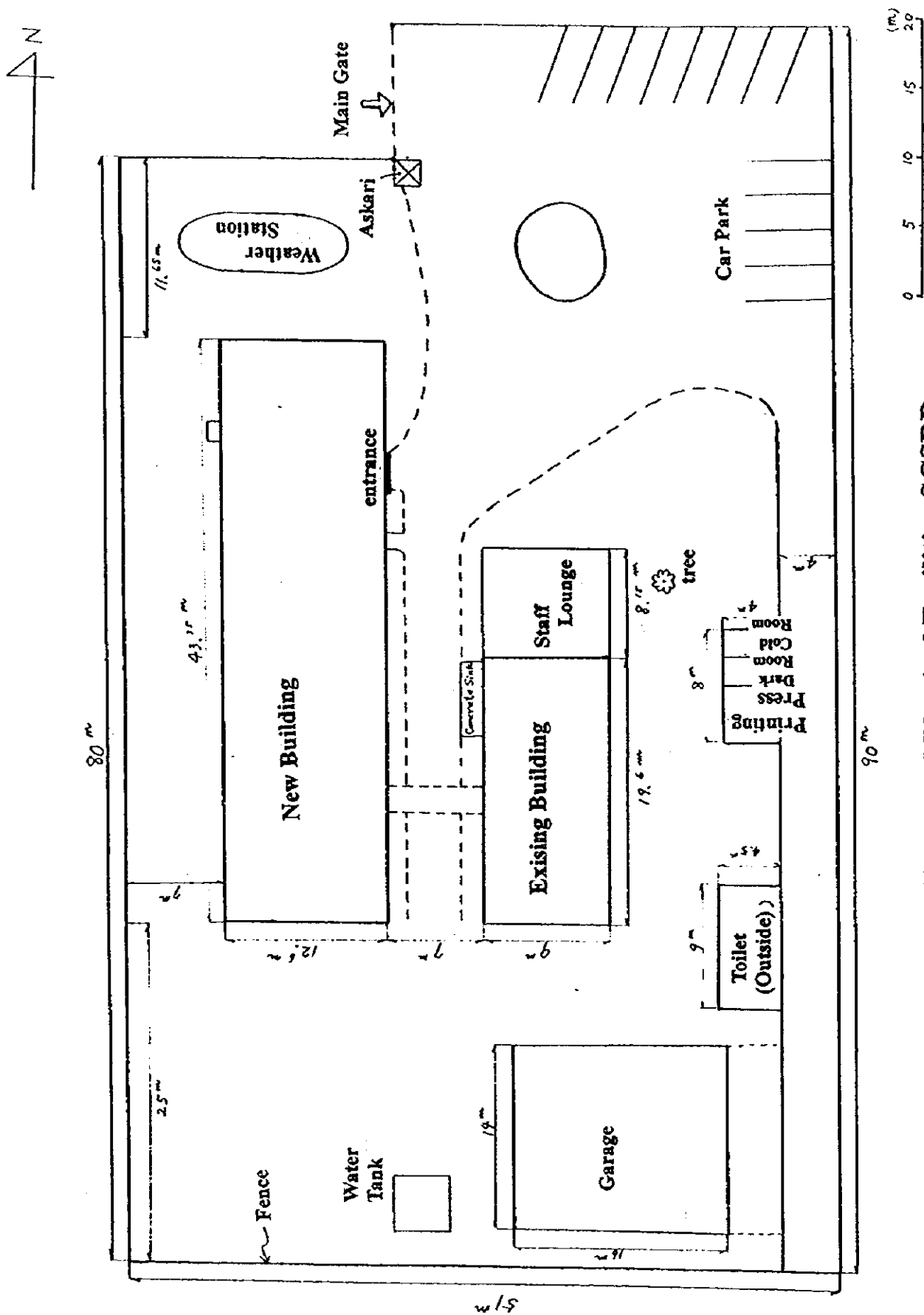
A-26

ORGANISATION CHART OF THE JOINT COORDINATING COMMITTEE

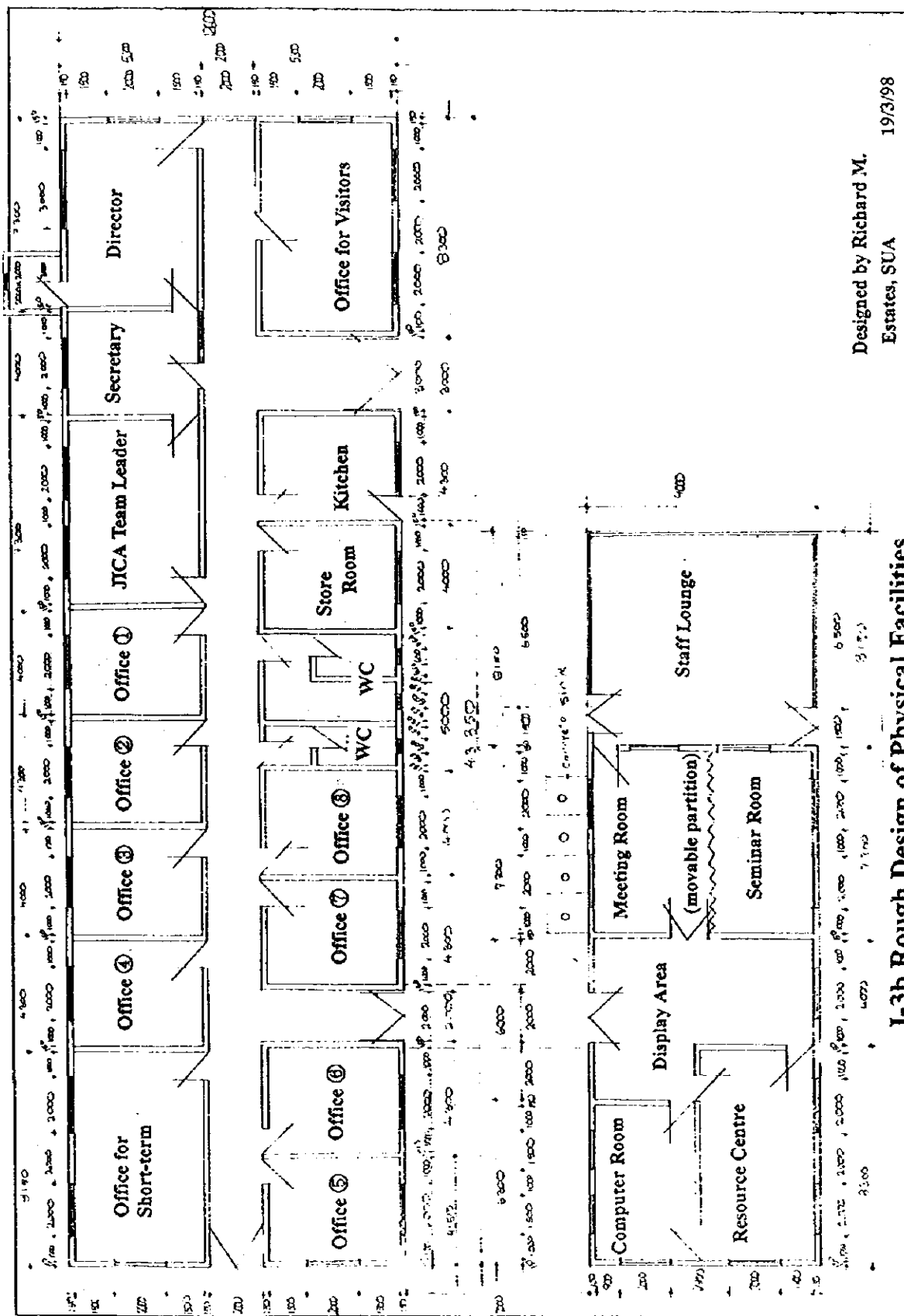


I-2. Proposed Ten Year Plan of SCSRD

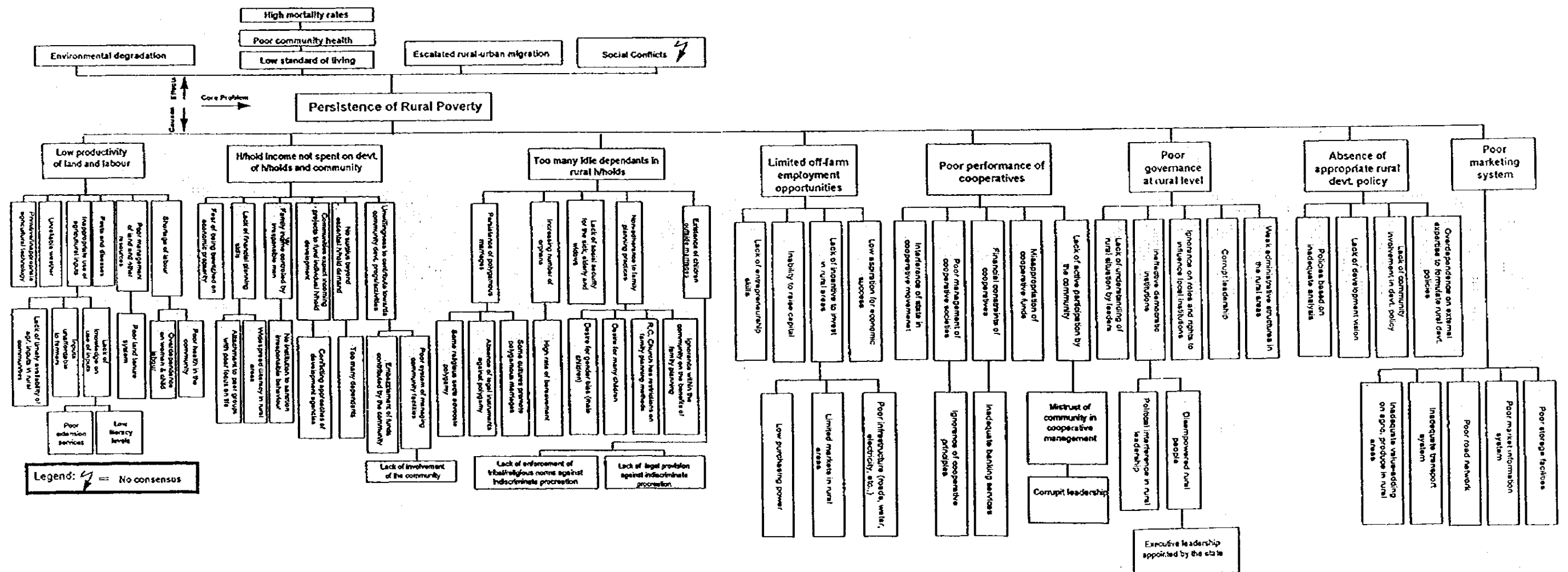
	Y1	Y2	Y3	Y4	Y5	Y6	Y7	Y8	Y9	Y10	Y11~
SCSRD JICA Project											
Model Project											
Mbinga											
Mt.Uluguru											
New Site 1											
New Site 2											
Resource Centre											
Documentation											
Dissemination											
East African RD Network											
Establishment of Institute											
Preparation											
SCSRD ⇒ IRD											
Field Type M.Sc/Ph.D Course											
Curriculum Preparation											
Course/Field Study											
Income Generation Unit											
Consultancy											
Publication											
Small Scale Production											
Mechanical Service											
Scientific Service											
Processing and Marketing Service of Farm Produce for RD											
A Part of Tuition Fee for M.Sc and Ph.D Course											
Workshop/Training											
at Rural Areas		*	*	*	*		*		*		*
at SUA				*				*			
Physical Facilities											
Renovation					≡	≡					
Additional Construction					≡	≡	≡				



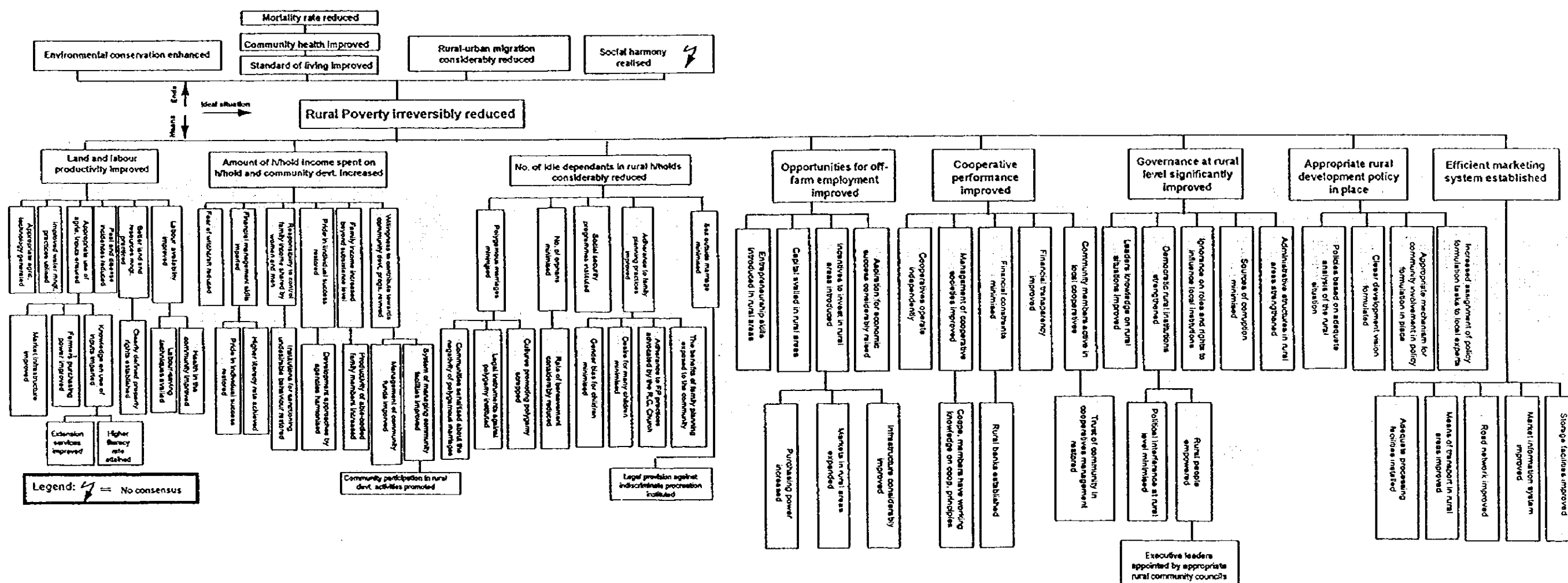
I-3a Layout of Proposed Physical Facilities, SCSRD



I-4a Result of SUA PCM/ZOPP Workshop - Problem Tree -



I-4b Result of SUA PCM/ZOPP Workshop
- Objective Tree -



I-4c Result of SUA PCM/ZOPP Workshop - Analysis of Key Players -

Key Player	Potential Contribution	Constraints in realising their potential
1. RURAL COMMUNITY	1.1 Efficient utilisation of land and other natural resources 1.2 Improvement of indigenous knowledge 1.3 Effective utilisation of labour 1.4 Effective leadership 1.5 Formation of community-based organisations <u>Other potentials:</u> 1.6 Seeking information 1.7 Expanding their enterprises 1.8 Willingness to learn 1.9 Increased consumption of goods and services 1.10 Ability to exert pressure to demand development activities	1.1.1 Unclear land tenure 1.1.2 Lack of investment capital 1.1.3 Limited knowledge on harnessing natural resources 1.1.4 Dependence on rain-fed agriculture 1.2.1 No documentation of indigenous knowledge 1.2.2 Absence of experimentation to verify indigenous knowledge 1.2.3 Low level of education 1.2.4 Association of IK with myths and taboos 1.2.5 Unwillingness to share IK 1.3.1 Skewed division of labour towards women 1.3.2 Shortage of skilled labour 1.3.3 Poor health 1.3.4 Poor time management skills 1.4.1 Low achievement motivation 1.4.2 Low commitment and accountability by leaders 1.4.3 Interference by higher authorities 1.4.4 Lack of leadership training 1.5.1 Mistrust of fund-raising organisers
2. Donor Community	2.1 Provide initial financial and material requirements and operationalise rural devt programmes 2.2 Facilitate exchange of experiences on rural devt initiatives 2.3 Provide technical personnel on project management 2.4 Assist in sourcing appropriate technologies	2.1.1 Takes time to familiarise with local situations 2.1.2 Donor fatigue 2.2.1 Demoralisation due to lack of counter-part funds 2.2.2 Inadequate information on rural devt for provision of funds 2.3.1 Insensitivity to demoralised status of counterparts in the devt projects 2.3.2 Changing priorities 2.4.1 Superimposing development models experienced elsewhere
3. Potential Investors	3.1 Provide technical and material means in the establishment of infrastructure 3.2 Improve on existing services - transport, communication, water and electricity 3.3 Construction of storage facilities 3.4 Invest in crops and livestock and their product markets 3.5 Invest in processing activities to increase value 3.6 Revive inputs supply systems 3.7 Improve on existing services - transport, communication, water and electricity 3.8 Participate in overall business management 3.9 Have credibility to borrow money from banks 3.10 Provide skills and training <u>Other potentials:</u> 3.11 Participate in overall business management 3.12 Provide skills and training	Lack of essential facilities to support investment in water, power and roads Poor communication facilities to support marketing Lack of potential market near-by Lack of profitable investment opportunities 3.6.1 Low purchasing power in rural areas 3.7.1 Lack of essential facilities to support investment <u>Other Constraints:</u> 3.8 Production of raw materials too low to meet industrial demand 3.9 Unconducive policies on land ownership, taxation and business modalities

Key Player	Potential Contribution	Constraints in realising their potential
4. SUA	4.1 Generate a data bank on rural development in Tanzania 4.2 Disseminate information on rural development 4.3 Utilise the data to foster rural development strategies 4.4 Advise policy makers on instituting rural development-oriented policies 4.5 Train students on appropriate rural development strategies 4.6 Retrain extensionists on rural development 4.7 Learn from farmers	Absence of a documentation centre for rural development activities Poor linkages with national institutions with stakes in rural development Paucity of information on rural development 4.4.1 Unwillingness of politicians to accept advice 4.4.2 Limited contacts between SUA and policy makers 4.5.1 Lack of professional development course on rural development 4.5.2 Absence of young staff 4.5.3 Shortage of specialist training facilities/teaching aids 4.5.4 Inappropriate training methods 4.5.5 Curriculum not adequately rural development oriented 4.6.1 SUA has no training programme for village-based extensionists 4.6.2 Inability of farmers to sponsor themselves 4.7.1 Inappropriate approach towards farmers 4.7.2 Lack of appropriate skills to work with farmers 4.7.3 Inappropriate approach to farming systems research 4.7.4 Limited accessibility to farmers 4.7.5 Weak groundwork before visiting farmers 4.7.6 Farmers are fed up with information collection 4.7.7 Failure of research to solve prevailing community problems 4.7.8 Teaching programme at SUA provides limited time for frequent visits to farmers 4.8.1 Lack of incentives to develop extension materials 4.8.2 Inadequate skills to produce extension materials 4.8.3 Lack of research to develop materials 4.8.4 Inadequate publishing facilities 4.9.1 Inadequate skills to facilitate participatory workshop 4.10.1 Inadequate database (primary) 4.10.2 Inadequate staff training on rural development 4.10.3 Lack of proper coordination mechanism within SUA 4.11.1 Limited accessibility to useful models 4.11.2 Lack of adequate data to validate the models
SUA Cont'd...	4.8 Develop appropriate extension materials on rural development 4.9 Develop implementable rural development plans through participatory approach 4.10 Approval of rural development projects 4.11 Design and test development models	
5. Local Government	Mobilising and supporting participative local community initiatives Coordinate local community initiatives Improving rural feeder roads Providing effective leadership to utilise land and natural resources More knowledgeable about community needs and potentials (relative to central government) Provide and supervise capable experts Soliciting and organising investment capital	Local govt. Councils unable to hire and fire Existence of uncommitted local government officials to rural development efforts Poor supervisory service of development activities Local government underfinanced to pursue its obligation in rural development Existence of corrupt elements in the local government Dependence on central government and donors to bring development projects and funds Short term planning horizon Misallocation of the available limited funds e.g. to finance political affairs - "Mafuta ya Mwenye", etc.

Key Player	Potential Contribution	Constraints in realising their potential
6. Central Government	Provision of good governance Monitor implementation of development policies Support human resources development Ensure an enabling environment (roads, water, electricity, education, health, etc.) Allocate substantial amount of financial resources Ensure effective legal institutions Clearly articulated vision on rural development Formulating appropriate policy on rural development	Dependence on egalitarian policy Policies formulated without focus - ad hoc High dependency on external aid Poor understanding of rural problems No mechanism for policy analysis in national planning process Low productivity of local experts in central government Insufficient information during policy formulation Rural development not accorded top priority by the central government
7. Private Traders	Investing in rural areas: cattle dips, transport services, storage facilities, etc. Supplying inputs and consumer goods Purchasing and marketing of agricultural produce Provision of credit to rural community	7.1.1 Low purchasing power of villagers 7.1.2 Shortage of appropriate technologies 7.1.3 Lack of necessary social services 7.1.4 Poor infrastructure 7.1.5 Unfavourable investment environment 7.1.6 Corruption and jealousy 7.2.1 Poor infrastructure 7.2.2 Poor business financing 7.2.3 High transportation costs 7.2.4 Low purchasing power of villagers 7.3.1 Poor infrastructure 7.3.2 Poor business financing 7.3.3 High transportation costs 7.3.4 Poor quality products 7.3.5 Unreliable supply of produce 7.4.1 Credit defaulting 7.4.2 Poor business financing of private traders
8. Politicians	8.1 Sensitization of rural community 8.2 Mobilisation of local resources 8.3 Mobilisation of external resources 8.4 Enactment of laws and regulations	8.1.1 Lack of trust on them by people 8.1.2 Lack of development vision 8.2.1 Ignorance of means to mobilise resources 8.2.2 Low motivation among politicians 8.2.3 Ineffectual politicians 8.3.1 Inability to articulate needs 8.3.2 Poor awareness of external opportunities 8.4.1 Poor knowledge of issues 8.4.2 Ineffectual politicians 8.4.3 Conflict of interests between politicians
9. NGOs	9.1 Mobilisation of external resources 9.2 Mobilisation of local communities 9.3 Improvement of community services 9.4 Avail credit facilities 9.5 Planning and execution of projects 9.6 Supply of technical know-how 9.7 Supply of inputs	9.1.1 Lack of transparency on available external resources 9.2.2 Overexpectations from local communities 9.2.3 Inappropriate approaches 9.3.1 Lack of enough resources 9.3.2 Poor infrastructure 9.3.3 Poor community participation 9.3.4 Non appreciation of the support from NGO by villagers 9.4.1 Lack of transparency on NGOs objectives and resources 9.4.2 Credit defaulting 9.5.1 Inadequate expertise 9.5.2 Inadequate resources 9.5.3 Pre-conceived priorities 9.5.4 Involvement in too many activities 9.5.5 Conflicting approaches of NGOs to development programmes 9.6.1 Inappropriate approaches 9.6.2 Rejection of technology supplied 9.7.1 Poor infrastructure 9.7.2 Inadequate resources

I-4d Result of SUA PCM/ZOPP Workshop - Project Planning Matrix(PPM) -

Goal:

Rural poverty irreversibly reduced

Project Purpose:

Sustainable rural development approach developed at SUA and operationalised

Outputs:

1. Strategies for increasing land and labour productivity introduced in the rural community.
2. Strategies to promote active participation in household and community development established.
3. A methodology for choosing and implementing off-farm employment opportunities adopted.
4. Sustainable and effective model of rural cooperatives adopted.
5. Farmer affordable post-harvest technologies adopted.
6. Marketing opportunities for farm products identified.
7. SUA's functional capacity enhanced.

PROJECT PLANNING MATRIX (PPM)		Project: SUA Centre for Sustainable Rural Development Country: Tanzania Project No.:	Estimated phase period: 5 years	
Summary of Objectives/Activities	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Assumptions	
Goal: Rural poverty irreversibly reduced.				
Project Purpose: Sustainable rural development approach developed at SUA and operationalised.				
Outputs:				
1. Strategies for increasing land and labour productivity introduced in the rural community.	1.1 30% of farmers in targeted villages achieve 100% increase in yields of two major crops by the year 2004. 1.2 30% of farmers in targeted villages achieve 100% increase in milk and meat output per animal by the year 2004.	• Annual production reports available at the Centre		
2. Strategies to promote active participation in household and community development established.	2.1 20% of targeted households will have constructed houses with corrugated iron sheets and bricks by the year 2004. 2.2 Between 2000 and 2004 community-financed projects in the project area will increase as follows: Year 2000 2001 2002 2003 2004 No of projects 10 15 38 55 70	• Village records compiled at the Centre.		
3. A methodology for choosing and implementing off-farm employment opportunities adopted.	3.1 No of people engaged in off-farm activities in each of the project sites increased as follows: Year 2000 2001 2002 2003 2004 No of people 50 80 160 200 250	• Project annual reports available at Hqs. • Farmers' Diary by random sampling in 1999 and 2004 • Annual farmer survey reports available at the Centre • Census data		
4. Sustainable and effective model of rural cooperatives adopted.	4.1 Percentage of inputs and services provided through cooperatives increase to 50% by 2004 in target areas. 4.2 Sale of farm products outside cooperatives in project areas reduced by 50% within 2 years after the commencement of the project.	• Project Annual reports available at the Centre. • Audited accounts of cooperatives • District cooperatives registrar reports.	• The government will not interfere with cooperatives.	
5. Farmer affordable post-harvest technologies adopted.	5.1 Between 2000 and 2004 post-harvest losses decreased in selected project villages as follows: Year 2000 2001 2002 2003 2004 % of decrease 40 30 20 10 5	• Annual post-harvest survey reports at SUA documentation centre.		
6. Farm products marketing opportunities in place.	6.1 Between 2000 and 2004 farm product sales increased in selected project villages as follows: Year 2000 2001 2002 2003 2004 % of increase 10% 25% 38% 50% 60%	• Annual survey reports on sales statistics from project villages at SUA Documentation Centre.		
7. SUA's functional capacity enhanced.	7.1 No of publications on rural development by SUA staff increased by 10% per year from 2000 - 2004. 7.2 No of rural development activities at SUA increased by 20% per year between 2000 - 2004. 7.3 No of consultancies on rural development done by the Centre increased as follows: Year 2000 2001 2002 2003 2004 No of Cons. 2 4 8 16 32	• Records at SUA Centre for Sustainable Rural Development		

**I-4e Result of SUA PCM/ZOPP Workshop
- PPM Activities -**

Activities to Output 1	Assumptions	Activities to Output 2	Assumptions	Activities to Output 4	Assumptions
1. <i>Strategies for increasing land and labour productivity in the rural community.</i> 1.1 Document existing labour saving technologies. 1.2 Develop appropriate labour saving techniques 1.3 Test labour saving techniques. 1.4 Disseminate appropriate labour saving techniques. 1.5 Take inventory of existing land and water management methods. 1.6 Develop and improve land and other resources management methods. 1.7 Disseminate improved land and water resources management methods. 1.8 Identify constraints impairing input utilisation. 1.9 Determine strategies for alleviating input use constraints. 1.10 Conduct farmer training on agric. inputs usage through various means.		2. <i>Strategies to promote active participation in household and community development established.</i> 2.1 Conduct survey to identify income generating activities and household income levels. 2.2 Identify obstacles limiting spending of income on household and community development. 2.3 Train farmers on financial management skills. 2.4 Recruit an expert on using theatre arts for community development. 2.5 Identify constraints of households which hinder their participation in development activities. 2.6 Conduct workshops on participatory approaches in community development for communities. 2.7 Train communities on development programme planning. 2.8 Organise theatre art activities in selected villages based on specific themes. 2.9 Assist communities to develop and implement their development plans. 2.10 Work with rural communities to follow-up on their development plans.		4. <i>A Sustainable and effective model of rural cooperatives adopted.</i> 4.1 Identify existing cooperative systems and factors that influence their performance. 4.2 Evaluate existing cooperative models. 4.3 Select the most promising cooperative models. 4.4 Test promising cooperative models in selected target areas. 4.5 Modify or adopt the most appropriate cooperative model. 4.6 Operationalise the most appropriate cooperative model in target areas.	
1.11 Conduct survey to establish the present insects/pests and diseases in selected areas. 1.12 Assess the efficacy of existing agricultural technologies. 1.13 Disseminate appropriate methods of controlling insects/pests and diseases. 1.14 Review existing training for community-based extensionists. 1.15 Develop participatory training modules for community-based extensionists. 1.16 Conduct training programmes for extensionists. 1.17 Conduct annual sample surveys in targeted villages.		3. <i>A methodology for choosing and implementing off-farm employment opportunities adopted.</i> 3.1 Conduct surveys to identify existing off-farm activities. 3.2 Identify characteristics of off-farm activities. 3.3 Determine factors which influence the realisation of off-farm opportunities. 3.4 Test relevant modes in pilot areas. 3.5 Evaluate performance of pilot off-farm projects. 3.6 Implement pilot off-farm projects in target areas. 3.7 Derive lessons from implementation of pilot activities. 3.8 Introduce other viable off-farm activities. 3.9 Conduct baseline surveys in target areas to set benchmarks on ownership of consumer goods.		5. <i>Farmer affordable post-harvest technologies adopted.</i> 5.1 Appraise traditional processing technologies adopted. 5.2 Identify possible improvements on traditional processing technologies. 5.3 Test the improved traditional processing techniques. 5.4 Assess the adequacy of storage facilities on the basis of post-harvest losses for various farm products. 5.5 Collect research information on appropriate post-harvest technology. 5.6 Select appropriate post-harvest technologies. 5.7 Prepare training materials. 5.8 Organise training of farmers on appropriate processing and post-harvest technologies. 5.9 Assess the rural transport and travel constraints. 5.10 Select and transfer appropriate means of transport.	Prices of agricultural products remain favourable

(Continued)

Activities to Output 6	Assumptions
6. Farm products marketing opportunities identified. 6.1 Conduct market surveys in selected project villages using questionnaires to farmers 6.2 Identify market channels for farm products 6.3 Establish the actual demand on farm products. 6.4 Establish the production potential of farm products and match with the demand. 6.5 Work out modalities for reliable supply of farm products. 6.6 Disseminate market information on relevant products 6.7 Monitor the utilisation of marketing information	Prices of agricultural products remain favourable

Activities to Output 7	Assumptions
7. SUA's functional capacity enhanced 7.1 Establish a rural devt. coordination and documentation centre. 7.2 Acquire facilities to conduct on-farm experiments 7.3 Acquire transport facilities. 7.4 Acquire specialist training facilities/aids. 7.5 Establish/improve discipline-based laboratories. 7.6 Establish outreach centres. 7.7 Acquire funds to produce extension materials. 7.8 Mobilise resources for farmer training. 7.9 Collect basic data on rural devt. 7.10 Acquire relevant information/literature on rural devt. 7.11 Review experiences of past rural devt. programme. 7.12 Establish and operationalise a rural database (RDIS) 7.13 Access and/or design rural devt. models and validate using local data. 7.14 Review the curricula to incorporate rural devt. concepts. 7.15 Develop appropriate strategies for working with farmers. 7.16 Train staff in the preparation of extension materials. 7.17 Institute training of staff on rural devt. approaches. 7.18 Prepare training programmes for village-based extensionists. 7.19 Develop professional development courses on rural devt. 7.20 Develop appropriate training methods for rural devt.	Efforts on incentive package improvement receive positive response

Activities to Output 7 contd...	Assumptions
7.21 Conduct regular staff/student seminars on rural devt. 7.22 Establish a mechanism to coordinate rural devt. activities. 7.23 Forge and maintain linkages with national institutions with stakes in rural devt. 7.24 Establish rapport with policy makers. 7.25 Design recruitment mechanism to ensure strong presence of young staff. 7.27 Develop incentive packages for staff involved in rural devt. activities. 7.28 Summarise rural devt. policies into brochures for ease of reference. 7.29 Equip depts/faculties/institutes involved in rural devt. activities. 7.30 Provide logistical and financial support to visiting scientists. 7.31 Sponsor PG students in Msc. 7.32 Conduct overall supervision.	

I-4f Result of SUA PCM/ZOPP Workshop
- Plan of Operations -

Output 1: Strategies for Increased land and labour productivity Introduced in the rural community		Objectively Verifiable Indicators: 1.1 30% of farmers in targeted villages will have 100% increase in major crops by the year 2004. 1.2 30% of farmers in targeted villages will have 100% increase in milk and meat output per animal by the year 2004.																									
ACTIVITY	TIME FRAME																				Duration (Months)	STE (MM)	Responsible	INPUTS		COST	
	FY1				FY2				FY3				FY4				FY5							Equipment (Capital)	Materials/ Services	TAS	USD
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4							
1.1 Document existing labour-saving technologies																					3	1	REMS Coordinator	PC/Copier Transport Computer	10,000 km Per diem Stationery		
1.2 Develop appropriate labour-saving technologies																					52	12	- ditto -	Transport materials Computer Lab. Space Air ticket	300,000 km Per diem Secretarial Labour hire		
1.3 Test labour-saving technologies																					21	6	- ditto -	Transport materials Computer Lab. space	100,000 km per diem Secretarial Labour hire		
1.4 Disseminate appropriate labour-saving technologies																					21	6	- ditto -	Transport PC/Copier Computer	100,000 km Per diem Stationery		
1.5 Take inventory of existing land and baour management. Methods																					3	1	- ditto -	Transport materials Computer Lab. space	100,000 km Per diem Labour hire		
1.6 Develop improved land and other resources management methods																					52	12	- ditto -	- ditto -			
1.7 Disseminate improved land and water management methods																					21	7	- ditto -	Transport & Audio visual materials	100,000 km Per diem Labour hire		
1.8 Identify constraints impairing input utilisation																					3	1	- ditto -	As in 1.5			
1.9 Determine strategies for alleviating input use constraints																					3	1	- ditto -	Transport materials	10,000 km		
1.10 Conduct farmer training on agric. inputs through demos, field days, farmer exchange, etc.																					12	4	- ditto -	Transport & Audio visual materials	10,000 km		
1.11 Conduct surveys to establish existing insect/pests and diseases in selected areas																					3	1	- ditto -	As in 1.1			
1.12 Assess the efficiency of existing technologies to eradicate pests and diseases																					6	3	- ditto -	As in 1.1			
1.13 Disseminate appropriate methods for controlling insects, pests and diseases																					24	8	- ditto -	Transport materials	10,000 km		
1.14 Review existing training for community-based extensionists																					3	-	- ditto -	As in 1.1			
1.15 Develop participatory training modules for community-based extensionists																					3	1	- ditto -	As in 1.1			
1.16 Conduct training programs for extensionists																					16	3	- ditto -	Transport materials Audio Visual equipment	Stationery Per diem		
1.17 Conduct annual surveys in targeted villages																					4	1	- ditto -	Transport materials	Per diem		

Legend:

Fixed schedule * Continuous activities into the 2nd 5 year phase x Regular activities, e.g. training

(Continued)

Output 2: Strategies to promote active participation in h/h and community development established		Objectively Verifiable Indicators: 2.1 Between 1999 and 2000 community-financed projects in target areas increased as follows: Year 2000 2001 2002 2003 2004 N° of projects 10 15 38 55 70 2.2 20% of targeted h/hs will have constructed houses with corrugated iron sheets and bricks by the year 2004.																									
ACTIVITY	TIME FRAME																				Duration (Months)	STE (MM)	Responsible	INPUTS		COST	
	FY1				FY2				FY3				FY4				FY5							Equipment (Capital)	Materials/ Services	TAS	USD
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4							
2.1 Conduct survey to identify income generating activities and h/h income levels																					3	3	CDG Coordinator	Transport Computer P/Copier	10,000 km Stationery Perdiem		
2.2 Identify obstacles limiting spending of income on h/h and community devt.																					3	3	- ditto -	Together with 2.1			
2.3 Train farmers on financial management skills *																					15	-	- ditto -	Computer P/Copier Trng material	50,000 km Stationery Perdiem		
2.4 Recruit and engage an expert on using theatre art for community devt.*																					57	-	- ditto -		Salaries		
2.5 Identify h/h constraints that hinder their participation in devt. activities *																					15	3	- ditto -	Computer P/Copier	40,000 km Perdiem Stationery		
2.6 Train a core group of experts on use of theatre art for community devt.																					3.5	-	- ditto -	Transport T/Art & AV materials	5,000 km Perdiem		
2.7 Conduct w/shops on participatory approaches in community devt. For communities *																					6	-	- ditto -	Transport T/Art & AV materials	12,000 km Stationery Perdiem		
2.8 Train communities on devt. prog. planning *																					15	-	- ditto -	Together with 2.3			
2.9 Organise T/Art activities based on specific themes in selected villages *																					8	-	- ditto -	Together with 2.7			
2.10 Assist communities to develop and implement their devt. plans																					15	-	- ditto -	Together with 2.3 & 2.8			
2.11 Work with rural communities to follow up on their devt. plans																					6						
2.12 Compile village records on status of housing and village projects *																					4	-	- ditto -	Transport	10,000 km Perdiem		
																						-	- ditto -	Computer P/Copier Desktop PC	10,000 km Stationery Perdiem		
SUB-TOTAL																											

Legend:

Fixed schedule * Continuous activities into the 2nd 5 year phase x Regular activities, e.g. training

(Continued)

Output 3:

A methodology for choosing and implementing off-farm employment opportunities adopted

Objectively Verifiable Indicators:

3.1 N° of people engaged in off-farm activities in each selected project site increased as follows:

Year

| 2000| 2001| 2002| 2003| 2004|

N° of people

| 50 | 80 | 150 | 200 | 250 |

3.2 Income of farmers increased by 50% in target areas through off-farm activities

ACTIVITY	TIME FRAME																				Duration (Months)	STE (MM)	Responsible	INPUTS		COST	
	FY1				FY2				FY3				FY4				FY5							Equipment (Capital)	Materials/ Services	TAS	USD
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4							
3.1 Conduct baseline surveys to identify off-farm activities and benchmark on ownership of consumer goods																					12	6	REMS Coordinator	Laptops 4 GPS 4 Motorbikes 4 Still camera + Video 2	96,000 km - \$ 0.2/km Field Assts. Researchers Night Alhw. (1MMx3 Res x 4sitesx40\$)		
3.2 Identify characteristics of off-farm activities																					6	3	- ditto -	Included in 3.1			
3.3 Determine factors which influence realisation of off-farm opportunities																					3	2	- ditto -	Included in 3.1			
3.4 Test relevant model in pilot areas																					39	20	- ditto -	128 MB RAM Desk Top PC Laptops incl in 3.1	288,000 km Stationery Field Assts. Researchers		
3.5 Implement pilot off-farm projects in target areas																					51	25	- ditto -	Assorted equipment	See 3.4 Planning W/S with villagers		
3.6 Evaluate performance of pilot off-farm projects																					3	3	- ditto -	Included in 3.1			
3.7 Derive lessons from implementation of pilot activities																					3	3	- ditto -	Included in 3.1	Research Assts. (1month) Seminar		
3.8 Introduce other viable off-farm activities																					18	6	- ditto -	Assorted equipment	W/S with farmers 24,000 km		
SUB - TOTAL																											

Output 4: <i>Sustainable and effective model of rural cooperatives adopted</i>		Objectively Verifiable Indicators: 4.1 Sales of farm products outside cooperatives in project areas reduced by 50% within 2 years after commencement of the project 4.2 Inputs and services provided through cooperatives increased to 50% by the year 2004 in target areas.	
--	--	---	--

ACTIVITY	TIME FRAME																				Duration (Months)	STE (MM)	Responsible	INPUTS		COST	
	FY1				FY2				FY3				FY4				FY5							Equipment (Capital)	Materials/ Services	TAS	USD
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4							
4.1 Identify existing cooperative systems and factors																					6	4	CMS Coordinator	Laptops 4 Motorbikes 4 Camera 1	Statement literature Field Assts. Researchers 25,000 km		
4.2 Evaluate existing cooperative models.																					6	4	- ditto -	Together with 4.1 64 MB RAM	Together with 4.1		
4.3 Select the most promising cooperative models.																					6	3	- ditto -	Together with 4.1 64 MB RAM	- ditto - Seminar		
4.4 Test promising cooperative models in selected target areas.																					39	39	- ditto -	- ditto -	285,000 km Stationery Field Assts. Researchers		
4.5 Modify or adopt the most appropriate cooperative model																					6	3	- ditto -		Together with 4.4 Research Assts.		
4.6 Operationalise the most appropriate cooperative model in target areas.																					12	6	- ditto -		V/shops with farmers 24,000 km		
SUB - TOTAL																											

Legend:

 Fixed schedule
 * Continuous activities into the 2nd 5 year phase
 x Regular activities, e.g. training

(Continued)

Output 5: Farmer affordable post-harvest technology adopted		Objectively Verifiable Indicators: 5.1 Between 2000 and 2004 post-harvest losses decreased in selected project villages as follows: Year 2000 2001 2002 2003 2004 % decreased 50 80 150 200 250	
--	--	--	--

ACTIVITY	TIME FRAME																				Duration (Months)	STE (MM)	Responsible	INPUTS		COST	
	FY1				FY2				FY3				FY4				FY5							Equipment (Capital)	Materials/ Services	TAS	USD
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4							
5.1 Appraise traditional post-harvest technologies																					3	1	PHS Coordinator				
5.2 Identify possible improvements on traditional processing technologies					x				x				x				x				4	1	- ditto -				
5.3 Test the improved traditional post-harvest technologies																					45	15	- ditto -				
5.4 Assess the adequacy of storage facilities on the basis of post-harvest losses for various farm products																					3	1	- ditto -				
5.5 Collect information on appropriate post-harvest technologies			x			x				x				x				x			5	2	- ditto -				
5.6 Select and transfer appropriate post-harvest technologies (link with manufacturing)																					42	14	- ditto -				
5.7 Prepare training materials for farmers training																					39	13	- ditto -				
5.8 Organise training of farmers on appropriate post-harvest technologies								x			x			x		x		x			5	2	- ditto -				
5.9 Assess rural transport and travel constraints																					3	1	- ditto -				
5.10 Select and transfer appropriate means of transport																											
5.11 Conduct annual surveys on post-harvest losses				x				x					x								51	17	- ditto -				
																	x				5	2	- ditto -				
SUB - TOTAL																											

Legend:

Fixed schedule * Continuous activities into the 2nd 5 year phase x Regular activities, e.g. training

(Continued)

Output 6: <i>Farm products marketing opportunities in place</i>		Objectively Verifiable Indicators: 6.1 Between 2000 and 2004 farm products sales increased in selected project villages as follows: Year 2000 2001 2002 2003 2004 % increased 10% 25% 38% 38% 50%																									
ACTIVITY	TIME FRAME																				Duration (Months)	STE (MM)	Responsible	INPUTS		COST	
	FY1				FY2				FY3				FY4				FY5							Equipment (Capital)	Materials/ Services	TAS	USD
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4							
6.1 Conduct market surveys in selected project villages using questionnaires to farmers																					6	3	Together with 4.1	96,000 km Field Assts. Researchers Stationery & literature			
6.2 Identify market channels for farm products																					24	6	Together with 4.1	Local travel: 12,000 km Regional: 16 trips within SADC region			
6.3 Establish the actual demand on farm products																					18	6	Together with 4.1	Together with 6.1			
6.4 Establish the production potential of farm products and match with the demand																					18	5	Together with 4.1	96,000 km Stationery Researchers Field Assts.			
6.5 Work out modalities for reliable supply of farm products																					12	3	Together with 4.2	Research Assts. Researchers			
6.6 Disseminate market information on relevant products																					18	6	-	16,000 km Workshops Stationery			
6.7 Monitor the utilisation of marketing information																					3	2	Together with 4.1 & 4.2	Stationery Research Assts.			
SUB - TOTAL																											

Output 7 : SUA's functional capacity enhanced		Objectively Verifiable Indicators: 7.1 Number of publications on rural development by SUA staff increased by 10% per year from 2000 to 2004																									
ACTIVITY	TIME FRAME																				Duration (Months)	STE (MM)	Responsible	INPUTS		COST	
	FY1				FY2				FY3				FY4				FY5							Equipment (Capital)	Materials/ Services	IAS	USD
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4							
7.1 Establish a rural development coordination and documentation centre																					18	3	Director	Building Furniture Computers P/Copier Bindery AC	Personnel Comm. Facilities Stationery Electricity Transport Water		
7.2 Acquire facilities to conduct on-farm activities																					24	8	- ditto -				
7.3 Acquire transport facilities																					12	4	- ditto -	Vehicles 10			
7.4 Acquire specialist training facilities																					12	4	- ditto -	Video cameras 2 OHPS 2 TV/VCR 2 Mobile unit 1 PAS 1			
7.5 Establish and improve discipline-based laboratories																					9	3	- ditto -	Lab. equipL			
7.6 Establish outreach centres																					18	6	- ditto -	Buildings			
7.7 Acquire funds to produce extension materials																					6	2	- ditto -				
7.8 Mobilise resources for farmer training																					18	6	- ditto -				
7.9 Collect basic data on rural development																					54	17	DDS Coord.	PC Remote sensing equipment			
7.10 Acquire relevant information/literature on rural development																					64	17	- ditto -	PC Publications			
7.11 Review experiences of past rural development programme																					6	2	- ditto -				

(Continued)

Output 7 Cont'd...

ACTIVITY	TIME FRAME																				Duration (Months)	STE (MM)	Responsible	INPUTS		COST	
	FY1				FY2				FY3				FY4				FY5							Equipment (Capital)	Materials/ Services	TAS	USD
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4							
7.12 Establish and operationalise a rural development databas																					6	4	DOS Coordinator	Computers			
7.13 Access and/or design rural devt. models and validate using local data																					12	6	- ditto -	Computers			
7.14 Review the curricula to incorporate rural devt. concepts																					12	3	Director				
7.15 Develop appropriate strategies for working with farmers																					42	12	DOS Coordinator				
7.16 Train staff in preparation of extension materials																					9	3	- ditto -				
7.17 Institute training of SUA staff in rural development approaches																					12	4	Director				
7.18 Prepare training proposals for village-based extensionists																					12	4	CDG Coordinator				
7.19 Develop professional development courses																					6	2	Director				
7.20 Develop appropriate training methods for rural development																					12	4	CDG Coordinator				
7.21 Conduct regular staff/student seminars on rural development																					0.5		DOS Coordinator				
7.22 Establish a mechanism to coordinate rural development activities																					6	2	- ditto -				
7.23 Forge and maintain linkages with national institutions with stakes in rural development																					60	20	Director				
7.24 Establish rapport with policy makers																					60	20	- ditto -				
7.25 Design recruitment mechanism to ensure strong presence of young staff																					12	4	- ditto -				
7.26 Coorodinate teaching, research and rural devt. activities																					12	4	- ditto -				
7.27 Develop incentive packages for staff involved in rural devt activities																					12	4	- ditto -				
7.28 Summarise rural devt policies into brochures for ease of reference																					6	2	DOS Coordinator				
7.29 Equip departments/ faculties and institutes involved in rural devt activities																					54	17	Director				
7.30 Provide logistical and financial support to visiting scientists																					80	20	- ditto -	4 renovated houses			
7.31 Support of Postgraduate (Msc.) training at SUA																							- ditto -				
7.32 Conduct overall coordination																							- ditto -				
SUB - TOTAL																											

Legend:

Fixed schedule * Continuous activities into the 2nd 5 year phase x Regular activities, e.g. training

Organisational Structure of the SCSR

Title of Outputs

- ♦ Land and labour productivity
- ♦ Post-harvest systems
- ♦ Marketing opportunities
- ♦ Off-farm activities
- ♦ Community participation
- ♦ Cooperative performance

Title of Sections

- Resources and Environmental Management
- Post-harvest Systems
- Cooperatives and Marketing
- Community Development and Gender
- Documentation and Dissemination

Plus:

- ♦ Documentation & dissemination

